【資料６】

令和９(2027)年度専攻医募集シーリング案等に係る意見について

１　概要

・医師の地域偏在や診療科偏在を是正するため、必要医師数に達している地域の診療科に対して、専攻医の採用定員数に「上限（シーリング）」が設けられている。

・医師の専門研修については、医師法の規定に基づき、日本専門医機構等は医師の研修に関する計画を変更するときなどは、あらかじめ厚生労働大臣の意見を聴かなければならず、また、厚生労働大臣は、関係都道府県知事の意見を聴いた上で意見を述べなければならないため、厚生労働省から都道府県に対して意見を求める協議があった。

・都道府県知事は、あらかじめ地域医療対策協議会の意見を聴いた上で意見を述べることとされており、県から厚生労働大臣に提出する意見について、ご協議いただくもの。

２　シーリング対象都道府県の選定及びシーリング数

（１）シーリング対象都道府県の選定

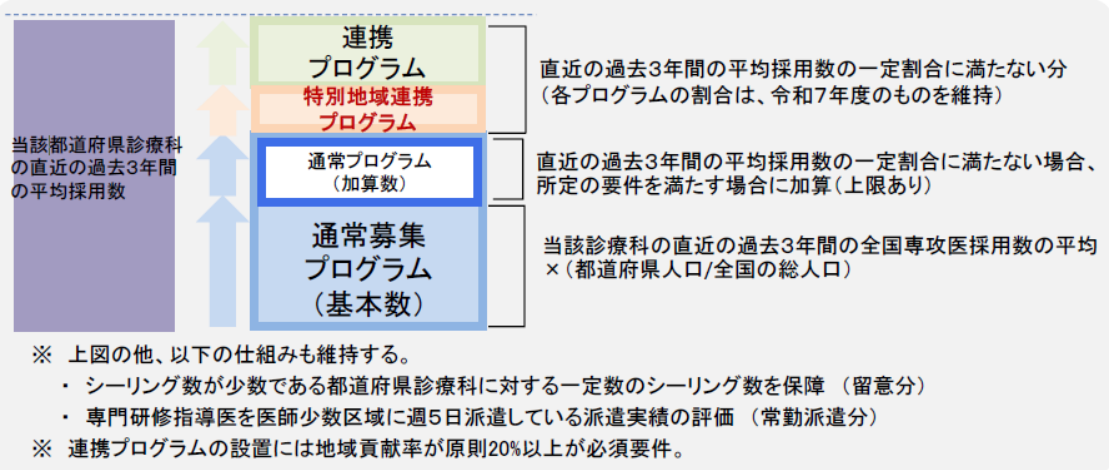
令和７(2025)年に算出された最新の必要医師数等を使用し、

「2022 年の足下医師数」≧「2022 年の必要医師数」かつ

「2022 年の足下医師数」≧「2030 年の必要医師数」となる各都道府県診療科。

ただし、過去３年間の採用数の平均が５人以下の都道府県診療科及び外科・産婦人科・病理・臨床検査・救急・総合診療科 の６診療科は対象外。

（２）シーリング数算定方法



３　令和９(2027)年度の岡山県のシーリング（案）

シーリング対象診療科の基準となる必要医師数等に最新のデータを用いた結果、岡山県では、皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・形成外科がシーリング対象診療科に追加されることとなる。

（別紙）

御意見がある場合は7月16日（木）までに提出をお願いします。

※意見がない場合は、提出不要です。
※下記の内容をメール本文に記載し、送付いただいても構いません。

岡山県医療政策課　医師確保班　髙田　あて
FAX：086－224－2313
Mail：iryo@pref.okayama.lg.jp

令和9(2027)年度専門研修プログラム等に係る意見

回答日	月　　日

所属機関	
委員名	

項目	（該当する番号に〇をしてください） 1　令和9(2027)年度専攻医シーリング案について 2　個別のプログラムについて 3　各診療領域のプログラムについて
御意見の内容	

【令和９(2027)年度シーリング】案（）はR8シーリング数

	内科	小児科	精神科	放射線科	麻酔科	皮膚科	眼科	耳鼻科	形成外科
通常プログラム数(加算分含む)	49(49)	14(14)	9(9)	6(6)	8(8)	6(-)	6(-)	3(-)	3(-)
通常プログラム数(常勤派遣分)	4（4）	0	1(1)	0	0	1	0	0	0
連携プログラム数	3（3）	0	0(0)	1(1)	1(1)	0	1(-)	2(-)	1(-)
特別地域連携プログラム	5（5）	0	1(1)	1(1)	6(6)	0	0	2(-)	3(-)
精神科指定医連携枠	0	0	1(0)	0	0	0	0	0	0
計	**61(61)**	**14(14)**	**12(12)**	**8(8)**	**15(15)**	**7(-)**	**7(-)**	**7(-)**	**7(-)**

４　資料一覧

別紙　　：令和９(2027)年度専門研修プログラム等に係る意見（提出様式）
資料６－１：厚生労働省への意見（事務局案）
資料６－２：日本専門医機構による令和９(2027)年度専攻医募集（案）について
資料６－３：日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数（案）
資料６－４：令和９(2027)年度県内の専門研修基幹施設及び診療領域
資料６－５：令和９(2027)年度県内の専門研修施設一覧
資料６－６：令和９(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

【資料６－１】

厚労省への意見（事務局案）

１　令和９（2027）年度専攻医シーリング案に関する意見

このたび示された令和９(2027)年度専攻医シーリング案について、シーリング対象診療科の選定基準となる必要医師数等について最新のデータを用いたことにより、本県のシーリング対象診療科は令和８年度から４診療科増の９診療科となっている。

新たに対象とされている診療科は、専門医の少ない診療科であり、プログラム責任者にヒアリングを行ったところ、シーリング導入により様々な影響が生じる懸念があることから、令和９年度シーリング案に対して意見を述べる。

Ⅰ　要望事項

１．令和９年度シーリング案での要望

①　新たにシーリング対象としようとする診療科については、医師の育成やその後の広域的な医師派遣の実態を踏まえ、大きな混乱を生じさせることなく、現場が適応できるよう、シーリングの適用を緩徐に行うこと。

②　大学病院において医学生の教育を行う医師が全国より多い県については、通常プログラム数を加算すること。または、医師数を算定する際に臨床及び教育を行う医師数について、係数を乗じること。

③　常勤指導医派遣数の加算については、本県から他県への安定的な指導医派遣を確保する観点から、継続していただきたい。

④　指導医派遣実績の加算数の上限を 15%から 50%に引き上げること。少なくとも、派遣実績がある場合は加算数１を保障すること。

⑤　②及び④の要望事項については、東京一極集中を是正する観点から、実医師数が少ない県において、効果が発揮されるような制度設計を行うこと。

⑥　特別地域連携プログラムの連携先の大半が遠方にある中国四国・九州地方のシーリング県については、特別地域連携プログラムの通常連携プログラムへの振り替えを可能とすること。

２．令和 10 年度以降の要望

・専攻医シーリングによる偏在是正の検証・抜本的見直し

（シーリングを継続する場合）

・ブロック単位での実態把握、シーリング設定等

・シーリング対象外診療科となる平均採用数（５人以下）の引き上げ

・シーリング対象診療科の選定段階における医師数の適正な評価・算定　など

Ⅱ　シーリングによる影響及び制度の問題点

１．今回追加となる診療科における事項

（１）広域的拠点としての診療機能が低下すること【要望事項①関連】

本県の専門医が減少することにより、中国四国地方を対象に行われている高度医

療や複数の診療科が連携した医療及びその指導体制を維持できなくなり、広域的な医療水準の低下につながる。

例えば、岡山大学病院では、形成外科でのマイクロサージャリー下でのリンパ浮腫治療及びコメディカルによる術後管理、耳鼻科での前頭蓋手術といった、中国地方の他県では実施していない、又は実施件数の少ない治療を行っている。

また、多診療科連携の視点では、耳鼻科・形成外科・口腔外科が連携した頭頚部がんセンターで複雑な頭頚部再建を実施しているほか、乳腺外科と形成外科が連携した乳がん治療・再建センターや形成外科、耳鼻咽喉科、口腔外科、リハビリテーション科などで構成する口唇裂・口蓋裂総合治療センターを設けるなど、高度で総合的な治療を実施する体制を整えている。

こうした高度な診療については、ハイボリュームセンターに十分な症例を集約することが診療レベルの維持に欠かせないと考えられる。

（２）教育及び研修の質が担保されなくなること【要望事項①関連】

例えば、形成外科においては、特別地域連携プログラムの連携先のような専門医が少ない県では、多岐に渡る疾患領域で十分な症例を経験できない可能性があることに加え、トレーニングプログラムの未整備やそれぞれの領域に精通した指導医の確保が容易でないことなどから、十分な研修を行うことが困難であり、専門医の質が低下することが懸念される。

（３）広域的な医師派遣機能が失われること【要望事項①関連】

本県の医療機関は、中国四国地方の医療機関に対し、指導医を含め多くの医師を派遣しているが、シーリングにより専門医、さらには医局入局者が減少することとなる。

これにより、本県医療機関の診療・指導体制を維持する必要性から、他県へ派遣している医師を引き上げざるを得なくなり、結果として広域的な医療提供体制の維持や医師偏在是正に悪影響を及ぼすことが懸念される。

（４）対象診療科の専門医の絶対数が減少する恐れがあること【要望事項①関連】

今回シーリング対象となる診療科を希望する医師は、シーリング導入により希望する施設での研修が受けられない可能性を考慮し、当該診療科へ進むことを断念する可能性がある。

これにより、本来であれば、本県で専攻医研修を行ったのちに中国四国地方の他県で働くはずだった専門医も含め、当該診療科専門医の絶対数減少に繋がることが懸念される。

２．全般的な事項

（１）医育機関に従事する医師数の評価が過大であること【要望事項②関連】

シーリング対象診療科の選定においては、各診療科別医師数に性年齢構成を調整

し、算定している。本県は、全国平均よりも医療施設従事者のうち医育機関付属の医療機関に従事する医師が多く、教育と臨床の両方に従事している医師が多い。

シーリング選定における足下医師数の算定では、基礎研究に従事する医師は除かれているが、教育と臨床の両方に従事している医師については、教育に携わる時間が減じられず、専ら臨床に携わる医師と同等に評価されている。

このため、本県では、足下医師数が過大に算定されている。

医療施設従事者のうち医育機関に付属する医療機関に勤める医師の割合
※医育機関の臨床系以外の勤務者等は含んでいない

全国	17.6%
岡山	21.9%

（R6 医師・看護師・薬剤師統計）

（２）医師派遣数の評価が不十分であること　【要望事項④関連】

専門研修指導医派遣数に基づく加算数については、基本数の 15%が上限とされているため、基本数が少ない診療科では、指導医を派遣していても、加算されない状況である。また、本県は、シーリング外の県へ多くの指導医を派遣しているが、その実績が適切に反映されていない。

加算数の係数を引き上げた場合のシーリング数の比較（眼科）

	①	②	③	④		
過去３カ年平均採用数（シーリング数上限）	通常プログラム基本数	派遣実績（人・年）	①のうち足元充足率 0.7 以下への派遣実績（人・年）	実績の加算数への換算（②*0.5+③*0.5）	加算数（15%の場合）①*15%＝0.75	加算数（50%の場合）①*50%=2.5 人
7 人	5 人	16 人	0 人	8 人	1 人	2 人

（３）特別地域連携プログラムの実効性について　【要望事項⑤⑥関連】

ア　受入機関の地域偏在

特別地域連携プログラムの受入可能数は、東日本に偏在しており、受入可能な医療機関が西日本内にない診療科も存在している。

西日本出身の医師は、特別地域連携プログラムによる場合、土地勘のない東日本の遠隔地において研修を受けることへの不安や負担がある。また、特別地域連携プログラムの連携先となる県については、連携体制の構築が容易ではなく、また、指導体制や経験できる症例件数等が限られることから、十分な研修を受けられることへの不安がある。

このため、本県のシーリング対象診療科を希望していた医師は、特別地域連携

プログラムへの応募を敬遠し、結果として、第一希望ではない診療科を選択することが生じる。

特別地域連携プログラム　受入可能数
（岡山県に特別地域連携プログラムが設定されている診療科）

	東日本（中部地方以東２３都道県）			西日本（近畿地方以西２４府県）		
	シーリング数	受入可能数	受入可能率	シーリング数	受入可能数	受入可能率
内科	70	411	587%	19	0	0%
精神科	20	68	340%	7	6	86%
耳鼻咽喉科	12	26	217%	3	2	67%
放射線科	3	54	1800%	9	0	0%
麻酔科	11	92	836%	14	0	0%
形成外科	8	20	250%	3	10	333%
合計	124	671	541%	55	18	33%

（令和９年度シーリング案　令和８年３月１３日時点）

【参考】中国四国地方

	シーリング数	受入可能数	受入可能率
内科	5	0	0%
精神科	1	0	0%
耳鼻咽喉科	2	0	0%
放射線科	3	0	0%
麻酔科	6	0	0%
形成外科	3	7	233%
合計	20	7	35%

イ　採用実績の偏在

令和７年度の特別地域連携プログラムのシーリング数 266 人に対し、採用人数は 41 人（15%）である。（延べ人数では 45 人）

延べ人数 45 人のうち、東京都が 38 人（84%）を占めている。

東京都からの受け入れ先は、関東地方が 28 人（74%）であり、そのうち首都圏（千葉県・埼玉県）が、12 人（32%）、北関東（茨城県・群馬県）が、16 人（42%）となっている。一方、北陸・東北地方は８人（21%）にとどまっている。

このことから、特別地域連携プログラムの専攻医の大半は、東京都から近隣の関東圏に移動しており、医師の少ない北陸・東北地方の医師偏在対策としての効果は発揮されていない。

令和７年度特別地域連携プログラムの採用実績

	シーリング数	採用数	採用率
東京都	139	34	24%
東京都以外	127	7	6%
合計	266	41	15%

令和７年度特別地域連携プログラム採用者の連携先の内訳

	東北地方	関東地方			北陸地方	東海地方	西日本	合計
			首都圏	北関東				
東京都	5	28	12	16	3	2	0	38
東京都以外	0	2	2	0	5	0	0	7
合計	5	30	14	16	8	2	0	45

※内科・小児科は複数県で研修する専攻医が含まれるため延べ人数を示す。

ウ　令和 10(2028)年度以降のシーリング数への影響

２.（３）アのとおり、岡山県の特別地域連携プログラム数を確保することは困難であり、その結果、今後のシーリング数は大きく減少することとなる。

２　その他の意見

（１）地域枠医師等への配慮

2022 年度から地域枠医師等に係るシーリングの運用が厳格化され、医師少数区域または医師少数スポットで研修を行う予定の者のみシーリングの対象外となることとされたが、地域枠医師等が医師の確保を特に図るべき区域等での就業期間については、当該医師のキャリア形成に配慮した上で設定することとされており、専門研修を実施する期間において医師少数区域等での研修を義務づけることまで求めるものであってはならない。また、医師少数区域等に研修施設が存在しない診療科もあることから、地域枠医師等の希望する診療科によっては専門研修を受けることができないおそれがある。

３　個別のプログラムに関する意見

（１）プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見
（２）プログラムの採用人数に関する意見
（３）プログラムの廃止に関する意見（該当する場合のみ）
（４）地域枠医師等への配慮に関する意見
（５）その他の意見

・（１）～（５）意見なし

４　各診療領域のプログラムに共通する意見

（１）複数の基幹施設設置に関する意見（内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科及び麻酔科のみ）

（２）診療科別の定員配置に関する意見

（３）その他の意見

・（１）～（３）意見なし

別添資料1

資料6-2

令和７年度第５回医道審議会医師分科会医師専門研修部会(令和8年3月18日)資料

日本専門医機構による
令和9(2027)年度専攻医募集(案)について

1

1. 総論

2

令和9（2027）年度専攻医募集におけるシーリングについて

方針（案）

○　令和9（2027）年度については、今後に向けた運用上の課題の把握等も念頭にしながら、基本的には、令和7（2025）年7月24日医道審議会医師分科会医師専門研修部会において厚生労働省より示された案を踏まえた方針とする。

○　令和9（2027）年度のシーリングについては、基本的には令和8（2026）年度の仕組みと同様とするが、具体的な変更点等は、以下のとおり。

1. シーリング対象
   - 令和7(2025)年に算出された最新の必要医師数や足下医師数のデータを用いることとし、「2022年医師数」が、「2022年の必要医師数」及び「2030年の必要医師数」と同数あるいは上回る都道府県診療科とする。
     ※ただし、過去3年間（令和5～7年度）の採用数の平均が5以下の都道府県診療科は、対象外とする。

2. 特別地域連携プログラム
   - 特別地域連携プログラムの連携先要件について
     ①足下充足率の基準を「0.7以下」から「0.8以下」に引き上げる。※小児科は「0.8以下」から「0.9以下」に引き上げ
     ②「医師少数区域」から「都道府県が候補とした施設」に変更する。
   - 特別地域連携プログラムと連携プログラム（都道府県限定分）を統合する。

3. 指導医派遣実績について
   - 通常プログラムの加算数の算出に用いる指導医派遣実績については、実績の収集等の負担等を考慮し、新たに収集することはせず、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。
   - ただし、令和9(2027)年度のシーリングにおいて新たに加算数の設置の対象となる都道府県診療科については、令和8(2026)年度のシーリング算出と同様の方法で実績を収集し、算出に用いる。

令和9（2027）年度専攻医募集におけるシーリング基本方針　全体像

1. シーリング対象都道府県の選定

○　令和7(2025)年に算出された最新の必要医師数等を使用し、各都道府県診療科における「2022年の足下医師数」と、「2022年の必要医師数」及び「2030年の必要医師数」を比較し、両者と同数又は上回る場合とする。

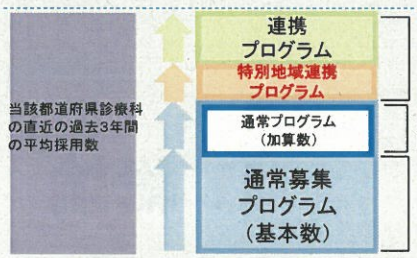
※　過去3年間の採用数の平均が5以下の都道府県診療科はシーリングの対象外とする。
※　例外としてシーリングの対象外とする診療科は、外科・産婦人科[1]、病理・臨床検査[2]、救急・総合診療科[3] の6診療科
1)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由　2)専攻医が著しく少数である等の理由　3)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

2. シーリング数や採用上限数、プログラムの内訳等

○　基本的には令和8（2026）年度の仕組みと同様とする。

○　特別地域連携プログラムの連携先要件を変更し、連携プログラム（都道府県限定分）を統合する。

○　通常プログラムの加算数の算出に用いる指導医派遣実績は、実績収集等の負担等を考慮し、基本的には、新たに収集することはせず、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。



直近の過去3年間の平均採用数の一定割合に満たない分（各プログラムの割合は、令和7年度のものを維持）

直近の過去3年間の平均採用数の一定割合に満たない場合、所定の要件を満たす場合に加算（上限あり）

当該診療科の直近の過去3年間の全国専攻医採用数の平均×（都道府県人口/全国の総人口）

※　上図の他、以下の仕組みも維持する。
- シーリング数が少数である都道府県診療科に対する一定数のシーリング数を保障　（留意分）
- 専門研修指導医を医師少数区域に週5日派遣している派遣実績の評価　（常勤派遣分）

※　連携プログラムの設置には地域貢献率が原則20%以上が必須要件。

	連携先	連携先における研修期間
連携プログラム	シーリング対象外の都道府県	1年6ヶ月以上
特別地域連携プログラム	足下充足率0.8以下（小児科は0.9以下）の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設	1年以上
通常プログラム	募集や採用にあたり生じる要件はない ※基本領域毎のプログラム整備基準において定められる地域研修等の要件はある	募集や採用にあたり生じる要件はない ※基本領域毎のプログラム整備基準において定められる地域研修等の要件はある

※足下充足率　2022足下医師数/2022必要医師数
※精神科は、他に精神保健指定医連携枠を設置することが可能

【令和9(2027)年度募集】シーリングの設定方法について①

1.　シーリング対象の診療科　※変更なし

内科、小児科、皮膚科、精神科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、形成外科、リハビリテーション科の13診療科

例外としてシーリングの対象外とする診療科は、
外科・産婦人科[1)]、病理・臨床検査[2)]、救急・総合診療科[3)]
の6診療科

1)平成6年度と比較して平成28年度の医師数自体が減少しているなどの理由
2)専攻医が著しく少数である等の理由
3)今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

2.　シーリング対象とする都道府県診療科の選定

「令和4年(2022年)の医師数」≧「令和4年(2022年)の必要医師数」
かつ「令和4年(2022年)の医師数」≧「令和12年(2030年)の必要医師数」を満たす都道府県診療科。

※過去3年間（令和5(2023)-7(2025)年度）の採用数の平均が5人以下の場合は、シーリング対象外とする。
※「医師数」は、いずれも性年齢構成を反映した仕事量に換算した人数。

3.　通常プログラム数の設定

（1）通常プログラムの基本数：
当該診療科の過去3年間（令和5(2023)-7(2025)年度）の全国専攻医採用数の平均×（都道府県の人口/全国の総人口）
※小児科については、（都道府県の15歳未満人口/全国の15歳未満総人口）とする。

（2）通常プログラムの加算数：
（1）の数が、過去3年間の平均採用数に達していない場合、「過去3年間の平均採用数に達しない範囲」かつ「通常プログラム基本数の15%までの範囲」で、指導医派遣実績に応じた通常プログラムの加算を可能とする。
※（1）においては、直近の過去3年間平均採用数を超えて設定することを許容。一方で、（2）は過去3年間平均採用数に満たない範囲で加算することとする。

（次ページに続く）

【令和9(2027)年度募集】シーリングの設定方法について②

4.　連携プログラムの設置

（3）連携プログラムの設置数
3．による通常プログラム数が、過去3年間の平均採用数に満たない場合、過去3年間の平均採用数に達しない範囲で、連携プログラムの設置を可能とする。（※1）
ただし、当該年度の通常プログラムにおける地域貢献率（※2）が原則20%以上であることを連携プログラムの設置のための必須条件とする。

※1　3.の時点で、直近の過去3年間平均採用数を超えた場合は、連携プログラムは設置されない。

※2　地域貢献率＝ $\dfrac{\Sigma（各専攻医が「シーリング対象外の都道府県」及び「当該都道府県の医師少数区域」で研修を実施している期間）}{\Sigma（各専攻医における専門研修プログラムの総研修期間）}$

（4）連携プログラムの内訳の設定
各連携プログラムは、令和7年度募集における各プログラムの設置数の比率（実績がない場合は令和7年度募集における設置数の比率の原則(※3)）を維持して設定する。ただし、特別地域連携プログラムの比率には、都道府県限定分と特別地域連携プログラムを含めることとする。

	区分	連携先	連携期間	シーリング数
（イ）	連携プログラム	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	1年半以上	【(3)連携プログラムの設置数】 ×令和7年度の連携プログラム総数における連携プログラムの割合
（ロ）	特別地域連携プログラム	足下充足率0.8以下(小児科は0.9以下)の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設	1年以上	【(3)連携プログラムの設置数】 ×令和7年度の連携プログラム総数における都道府県限定分及び特別地域連携プログラムの割合

※3　連携プログラム：特別地域連携プログラム（都道府県限定分を含む）＝　3：2　（内科・整形外科・脳神経外科）
1：1　（眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科）
1：2　（小児科・皮膚科・精神科・放射線科・麻酔科・形成外科）

（次ページに続く）

【令和9(2027)年度募集】シーリングの設定方法について③

5.　留意分等

(5)シーリング数が全国採用数の一定割合に満たない場合の配慮（留意分）

算出されたシーリング数が、当該診療科の過去3年間（令和5(2023)-7(2025)年度）の全国専攻医採用数の平均の1.7%に満たない場合、前回シーリング数を超えない範囲で通常プログラムを追加することを可能とする。

※新たにシーリング対象となった都道府県診療科など「前回シーリング数」が存在しない都道府県診療科は、
・これまでシーリング対象となったことがある場合は、直近のシーリング数
・これまでシーリング対象となったことがない場合は、過去3年間（令和5(2023)-7(2025)年度）の平均採用数
を「前回シーリング数」として代用する。

(6)常勤派遣分

通常プログラム加算数の対象である都道府県診療科について、指導医の全派遣実績のうち、医師少数区域に週5日派遣している派遣実績を更に評価し通常プログラムを追加することを可能とする。
ただし、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

留意事項

＜シーリング対象外とする医師＞

・①又は②の医師のうち、専攻医期間に医師少数区域又は医師少数スポットで専門研修を行う予定の者。
　① 都道府県と卒業後一定期間、当該都道府県内で医師として就業する契約を締結した者（修学資金の貸与の有無を問わない）
　② 自治医科大学を卒業した医師

・既に基本領域専門医を取得済みのダブルボード取得希望者。

2. シーリング対象

令和9（2027）年度シーリング対象都道府県診療科の一覧

診療科	都道府県
内科	東京、京都、和歌山、鳥取、岡山、徳島、福岡、長崎、熊本、鹿児島
小児科	東京、長野、京都、兵庫、奈良、岡山
皮膚科	東京、石川、愛知、京都、兵庫、岡山
精神科	東京、石川、京都、岡山、広島、香川、福岡、佐賀、熊本、沖縄
整形外科	京都、奈良、福岡
眼科	東京、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山
耳鼻咽喉科	東京、京都、大阪、兵庫、岡山
泌尿器科	東京、京都、大阪、福岡
脳神経外科	北海道、東京
放射線科	東京、京都、大阪、奈良、岡山、愛媛、福岡
麻酔科	北海道、東京、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡、沖縄
形成外科	東京、大阪、岡山、福岡
リハビリテーション科	東京、大阪、福岡

3. 指導医派遣実績

【令和９（2027）年度募集】専門研修指導医の派遣実績の定義等

○ 通常プログラム加算数の算出に用いる専門研修指導医の派遣実績は、令和8(2026)年度と同様、下記の（1）と（2）のいずれも満たす場合を対象とする。

（1）医師や派遣先における勤務形態

（イ）原則、各基本領域の専門研修プログラム整備基準に定める専門研修指導医の要件を満たす医師であること

（ロ）派遣元と派遣先の連携・調整により派遣された医師であること

具体例
- 派遣元から、出向等の形式で異動した上で、所定の期間が経過した後に派遣元に戻る予定の医師
- その他、派遣元から専攻医を受け入れて指導を行っているなど、専門研修環境の向上に資する医師
- いわゆる医局からの派遣も実績の対象としてよい

留意事項
- 双方の合意形成の元で派遣されている医師に限ること。調整の事実がないことが疑われる場合は改めて確認する場合がある。

（ハ）専攻医の指導を行うこと等を通じて、専門研修の充実に資する勤務形態であること

具体例
- 常勤/非常勤の勤務形態や、派遣期間によらず、専攻医の指導に当たることが想定される場合
- 週当たり勤務日数が週5日未満の場合や月単位の勤務（例：週3日の非常勤勤務を6か月間行う場合など）であっても、専攻医の指導を担当しうる場合

留意事項
- 週あたり派遣日数については、概ね半日（午前または午後）以上の勤務を1日とカウントする。
- 派遣期間については、概ね半月以上を1か月とカウントする。
- 常勤医とは、派遣先で週32時間以上勤務する医師を指す。

（2）派遣先

（イ）専門研修施設（基幹施設または連携施設）又はその認定を受けようとする医療機関への派遣であること

留意事項
- 報告時点で研修施設となっていないものの、指導医が派遣されることにより、研修施設の要件を満たし、研修施設としての学会の認定を受けようとしている場合も、研修施設への派遣実績に含める。

（ロ）シーリング対象外の都道府県への派遣であること

具体例
- 連携プログラム等の連携先要件を満たす地域への派遣

留意事項
- 指導医と専攻医が共に派遣先（連携先）で勤務することが望ましいが、指導医単独での派遣も実績に含めることができる。
- 派遣先については、派遣元の研修プログラムの連携施設のみならず、他のプログラムの基幹施設や連携施設も実績に含めることができる。

【令和9(2027)年度募集】専門研修指導医の派遣実績の枠数への換算

○ 専門研修指導医の派遣実績の枠数への換算及び設定数については、令和8年度と同様、以下のとおりとした。

○ また、実績の収集等の負担等を考慮し、基本的には、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。令和９（2027）年度のシーリングにおいて新たに加算数の設置の対象となる都道府県診療科(※)においては、令和8(2026)年度のシーリング算出と同様の方法で実績を収集し、算出に用いる。

通常プログラム加算数

対象とする派遣実績	枠数への換算	設定可能数	扱い
要件を満たす全派遣実績	派遣実績(人・年)×0.5・・・(ア)	(ア)＋(イ)を、以下のいずれか小さい数を上限とし設定可能とする (a)過去3年間の平均採用数に達しない範囲 (b)通常プログラム基本数の15%までの範囲	通常プログラム
要件を満たす全派遣実績のうち、足下充足率0.7以下の都道府県への派遣実績	派遣実績(人・年)×0.5・・・(イ)		

常勤派遣分

対象とする派遣実績	枠数への換算	設定可能数	扱い
要件を満たす全派遣実績のうち、常勤に相当する週5日間の医師少数区域への派遣実績	派遣実績(人・年)/(通常プログラム基本数の15%分)・・・(ウ)	(ウ)を、通常プログラム基本数の15%分を上限とし設定可能とする	通常プログラム（ただし、次年度の採用実績に計上しない）

※内科（鳥取県）、小児科（兵庫県、奈良県）、皮膚科（愛知県、岡山県）、精神科（京都府、香川県）、整形外科（奈良県）、眼科（愛知県、岡山県）、泌尿器科（東京都、福岡県）、麻酔科（兵庫県）

専門研修指導医の派遣実績及び加算数

○ 令和9(2027)年度専攻医募集におけるシーリングにおいて新たに加算数の対象となった都道府県診療科から指導医派遣実績（下表の②、③及び⑥）を収集し、「通常プログラム加算数」（下表⑤）及び「常勤派遣分」（下表⑧）を算出した。

		通常プログラム加算数（②～⑤）					常勤派遣分（⑥～⑧）		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
領域	都道府県	加算上限	派遣実績（人・年）	②のうち、派遣先が足下充足率0.7以下への派遣実績（人・年）	実績の加算数への換算（②×0.5＋③×0.5）	通常プログラム加算数	②のうち、医師少数区域に週5日派遣している派遣実績(人・年)	⑥/①	常勤派遣分
内科	鳥取県	1	38	0	19	1	1	1	1
小児科	兵庫県	4	14	0	7	4	0	0	0
小児科	奈良県	1	10	0	5	1	0	0	0
皮膚科	愛知県	3	20	0	10	3	5	2	2
皮膚科	岡山県	1	16	0	8	1	16	16	1
精神科	京都府	2	87	0	44	2	0	0	0
精神科	香川県	1	2	1	2	1	1	1	1
整形外科	奈良県	1	8	0	4	1	6	6	1
眼科	愛知県	3	10	0	5	3	3	1	1
眼科	岡山県	1	8	0	4	1	0	0	0
泌尿器科	東京都	6	172	11	91	6	22	4	4
泌尿器科	福岡県	2	10	0	5	2	0	0	0
麻酔科	兵庫県	3	0	0	0	0	0	0	0

※令和9年度シーリングの対象である都道府県診療科のうち、加算数並びに常勤派遣分の対象とならない場合の理由及び該当する都道府県診療科は以下のとおり。

○通常プログラム基本数が過去3年間平均採用数を上回るまたは同数となる

・・・・・内科（徳島県、熊本県、鹿児島県）、小児科（長野県、京都府、岡山県）、皮膚科（兵庫県）、精神科（広島県、熊本県、沖縄県）、眼科（兵庫県）、耳鼻咽喉科（大阪府、兵庫県）、泌尿器科（大阪府）、脳神経外科（北海道）、放射線科（大阪府）、麻酔科（北海道、大阪府、広島県、福岡県）、形成外科（大阪府、福岡県）、リハビリテーション科（大阪府、福岡県）

○加算上限が1未満

・・・・・皮膚科（石川県）、耳鼻咽喉科（岡山県）、放射線科（奈良県、愛媛県）、形成外科（岡山県）

参考：令和8(2026)年度のシーリング算出における指導医派遣実績と加算数等

※令和9(2027)年度のシーリングにおいては、令和8(2026)年度に続き加算数の対象となった都道府県診療科の指導医派遣実績について、実績収集等の負担等を考慮し、新たに収集することはせず、令和8(2026)年度のシーリング算出に用いた実績を使用。

専門研修指導医の派遣実績及び加算数

領域	都道府県	加算上限	① 派遣医師人数（人）	② ①の派遣実績（人・年）	③ 派遣医師人数（人）のうち、派遣先が足下充足率0.7以下への派遣（人）	④ ③による派遣実績（人・年）	実績の加算数への換算（②×0.5＋④×0.5）	加算数
内科	東京都	50	1,265	884	543	415	649	50
内科	京都府	9	303	245	23	21	133	9
内科	大阪府	8	173	126	7	3	65	8
内科	和歌山県	3	9	9	2	2	6	3
内科	岡山県	6	240	219	0	0	109	6
内科	福岡県	18	155	97	1	1	49	18
内科	長崎県	3	11	11	0	0	6	3
小児科	東京都	9	234	122	1	1	61	9
皮膚科	東京都	5	62	47	1	1	24	5
皮膚科	京都府	1	52	15	0	0	8	1
精神科	東京都	10	169	147	15	13	80	10
精神科	石川県	1	5	5	0	0	3	1
精神科	岡山県	1	73	68	1	1	35	1
精神科	福岡県	2	10	8	0	0	4	2
精神科	佐賀県	1	9	2	2	1	1	1
整形外科	東京都	12	406	285	120	69	177	12
整形外科	京都府	2	98	93	0	0	47	2
整形外科	福岡県	4	147	114	2	2	58	4

次項に続く

専門研修指導医の派遣実績及び加算数（続き）

領域	都道府県	加算上限	① 派遣医師人数（人）	② ①の派遣実績（人・年）	③ 派遣医師人数（人）のうち、派遣先が足下充足率0.7以下への派遣（人）	④ ③による派遣実績（人・年）	実績の加算数への換算（②×0.5＋④×0.5）	加算数
眼科	東京都	6	167	102	7	2	52	6
眼科	京都府	1	50	35	0	0	17	1
眼科	大阪府	3	40	32	0	0	16	3
耳鼻咽喉科	東京都	4	89	73	6	3	38	4
耳鼻咽喉科	愛知県	2	7	5	0	0	2	2
耳鼻咽喉科	京都府	1	39	37	0	0	19	1
泌尿器科	京都府	1	77	73	0	0	37	1
脳神経外科	東京都	4	290	228	150	120	174	4
放射線科	東京都	6	204	116	143	83	99	6
放射線科	京都府	1	144	125	2	2	63	1
放射線科	岡山県	1	42	42	0	0	21	1
放射線科	福岡県	1	35	29	3	3	16	1
麻酔科	東京都	8	290	137	242	102	120	8
麻酔科	京都府	2	76	56	7	1	29	2
麻酔科	岡山県	1	122	85	8	7	46	1
麻酔科	沖縄県	1	0	0	0	0	0	0
形成外科	東京都	4	94	80	13	10	45	4
形成外科	兵庫県	2	12	8	11	8	8	2
リハビリテーション科	東京都	2	56	51	22	20	36	2

専門研修指導医(常勤)の医師少数区域への派遣実績に応じたシーリング数の追加（常勤派遣分）

令和７年度第２回 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会	資料
令 和 ７ 年 ７ 月 ２ ４ 日	１－４ (一部修正)

領域	都道府県	(1) 加算上限	(2) 全派遣実績のうち、医師少数区域に週５日派遣している派遣実績（人・年）	(3) (2)/(1)	(4) 常勤派遣分
内科	東京都	50	86	2	2
内科	京都府	9	29	3	3
内科	大阪府	8	0	0	0
内科	和歌山県	3	2	1	1
内科	岡山県	6	23	4	4
内科	福岡県	18	3	0	0
内科	長崎県	3	0	0	0
小児科	東京都	9	20	2	2
皮膚科	東京都	5	4	1	1
皮膚科	京都府	1	1	1	1
精神科	東京都	10	17	2	2
精神科	石川県	1	0	0	0
精神科	岡山県	1	19	19	1
精神科	福岡県	2	2	1	1
精神科	佐賀県	1	2	2	1
整形外科	東京都	12	36	3	3
整形外科	京都府	2	0	0	0
整形外科	福岡県	4	4	1	1

領域	都道府県	(1) 加算上限	(2) 全派遣実績のうち、医師少数区域に週５日派遣している派遣実績（人・年）	(3) (2)/(1)	(4) 常勤派遣分
眼科	東京都	6	3	1	1
眼科	京都府	1	0	0	0
眼科	大阪府	3	0	0	0
耳鼻咽喉科	東京都	4	7	2	2
耳鼻咽喉科	愛知県	2	1	1	1
耳鼻咽喉科	京都府	1	2	2	1
泌尿器科	京都府	1	5	5	1
脳神経外科	東京都	4	32	8	4
放射線科	東京都	6	24	4	4
放射線科	京都府	1	0	0	0
放射線科	岡山県	1	0	0	0
放射線科	福岡県	1	3	3	1
麻酔科	東京都	8	43	5	5
麻酔科	京都府	2	0	0	0
麻酔科	岡山県	1	0	0	0
麻酔科	沖縄県	1	0	0	0
形成外科	東京都	4	14	4	4
形成外科	兵庫県	2	2	1	1
リハビリテーション科	東京都	2	6	3	2

※1　「(1)加算上限」は、通常プログラム加算数を設定する際の上限。

※2　(2)は、専門研修指導医を、シーリング対象外の都道府県の医師少数区域に、常勤に相当する週5日、派遣している実績。

※3　「(4)常勤派遣分」は、「(1)加算上限数」と「(2)医師少数区域への常勤の指導医派遣実績」の比率（ =(3) ）をもとに、上限を「(1)加算上限」の値とし、算出。常勤派遣分の合計は50枠となり、通常プログラムのシーリング数2,071の３%未満となる。なお、常勤派遣分は、次年度以降のシーリング数算出の際の採用実績には計上しないものとする。

4. 特別地域連携プログラム

特別地域連携プログラムに係る経緯

令和 8年1月21日　令和7年度第4回 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会　資料2－1（日本専門医機構資料）

経緯

○　連携プログラムについては、本部会において関係者間の協力体制の構築の重要性等が議論され、また、厚生労働大臣から、連携先確保に関する仕組みの構築準備等、特別地域連携プログラムの推進に向けた取組等を進めるよう意見を受けた。

「医師法第16条の10第1項に基づく厚生労働大臣から一般社団法人日本専門医機構への意見」
（令和7年9月22日）（抄）

1．医療提供体制の確保に重大な影響を与える可能性に関すること（医師法第16条の10関係）
（1）令和8年度専攻医募集におけるシーリング案について
②連携プログラム等について（抄）
・　医道審議会医師分科会医師専門研修部会における連携先要件及び研修期間等に関する議論や、連携先確保の取組を推進する方向性を踏まえ、今後の検討に資するよう、特別地域連携プログラムを経験した専攻医の意見を聴取することや、**連携先確保に必要とされる都道府県や学会等が協力できる仕組みの構築準備等、特別地域連携プログラムの推進に向けた取組を進めること。**

○　また、令和9(2027)年度募集から、特別地域連携プログラムの連携先要件を、「足下充足率が0.8以下（小児科は0.9以下）の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設」と変更する方針とされた。

○　こうした議論等を踏まえ、令和9年度以降の専攻医募集に向けては、連携先要件に関する運用上の基本的な考え方や、関係者が必要とする連携先に関する情報項目の検討を行った。さらに、学会に対して説明会を開催した上で、令和7年11月には都道府県に対して候補とする連携先の情報提供を依頼するなど、取組を進めてきた。

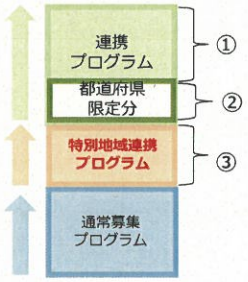
19

令和7年度第3回　医道審議会
医師分科会　医師専門研修部会
令和7年9月5日
資料2

専門研修の連携プログラムにおける連携先要件及び区分の見直し（案）

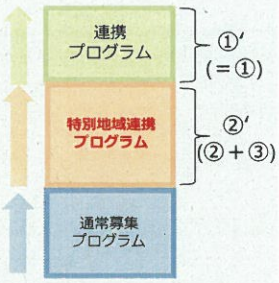
令和８年度

	区分	連携先	連携期間	採用数
①	連携プログラム（都道府県限定分を除く）	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	1年半以上	・過去３年間の平均採用数の一定割合に満たない分 ・各プログラムの割合は、令和７年度のものを維持
②	連携プログラム（都道府県限定分）	足下充足率0.8以下の都道府県に所在する施設	1年半以上	
③	特別地域連携プログラム	足下充足率0.7以下の都道府県の医師少数区域等に所在する施設	１年以上	



令和９年度以降（案）

	区分	連携先	連携期間	採用数
①′	連携プログラム	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	１年半以上	①と同様
②′	特別地域連携プログラム	足下充足率0.8以下(小児科は0.9以下)の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設	１年以上	②＋③



見直し（案）のポイント

- 特別地域連携プログラムの連携先要件について、
  - 足下充足率の基準を「0.7以下」から「0.8以下」に引き上げる　※更新後の足下充足率を踏まえた対応
  - 「医師少数区域」から「都道府県が候補とした施設」に変更　※地域ニーズや領域特性への柔軟な対応
- 特別地域連携プログラムを連携プログラム（都道府県限定分）と統合する　※制度のシンプル化・意義を保つ目的

20

特別地域連携プログラムの連携先要件等の考え方

○ 連携先施設及び連携期間については、本部会の議論等を踏まえ、それぞれ下記のように扱う。

連携先施設となるための基準

○ 連携先は、足下充足率が0.8以下（小児科は0.9以下）の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設とする。なお、足下充足率は「2022年医師数/2022年必要医師数」とし、2022年医師数及び2022年必要医師数は、2025年の算出によるものとする。

○ 「都道府県が候補とした施設」の選定における基本的な考え方については、下記のとおりとする。

（ア）原則として、医師少数区域に所在する施設を中心に候補を選定しつつ、都道府県が必要と認める場合は、それ以外の区域に所在する施設を選定できることとする。

（医師少数区域以外の施設を選定することが考えられる状況の例）
- 医師少数区域に研修施設が存在しない。
- 医師少数区域の施設に専門研修指導医が存在しない。
- 医師少数区域に受入を希望する施設が存在しない。
- 症例数が一定数確保されているなど、医師の研修により適したものとしてキャリア形成プログラム等に位置づけるなど、都道府県が指定した施設である。
- 臨床研修指定病院である。
- 地域医療構想調整会議等の議論に基づき、今後の医療提供体制を見据えて選定した施設である。
- 重点医師偏在対策支援区域にある施設である。

等

（イ）令和8年度までに特別地域連携プログラム及び都道府県限定分において連携先となっていた施設は、引き続き連携先（候補）に含めることを基本とする。

連携先における研修期間

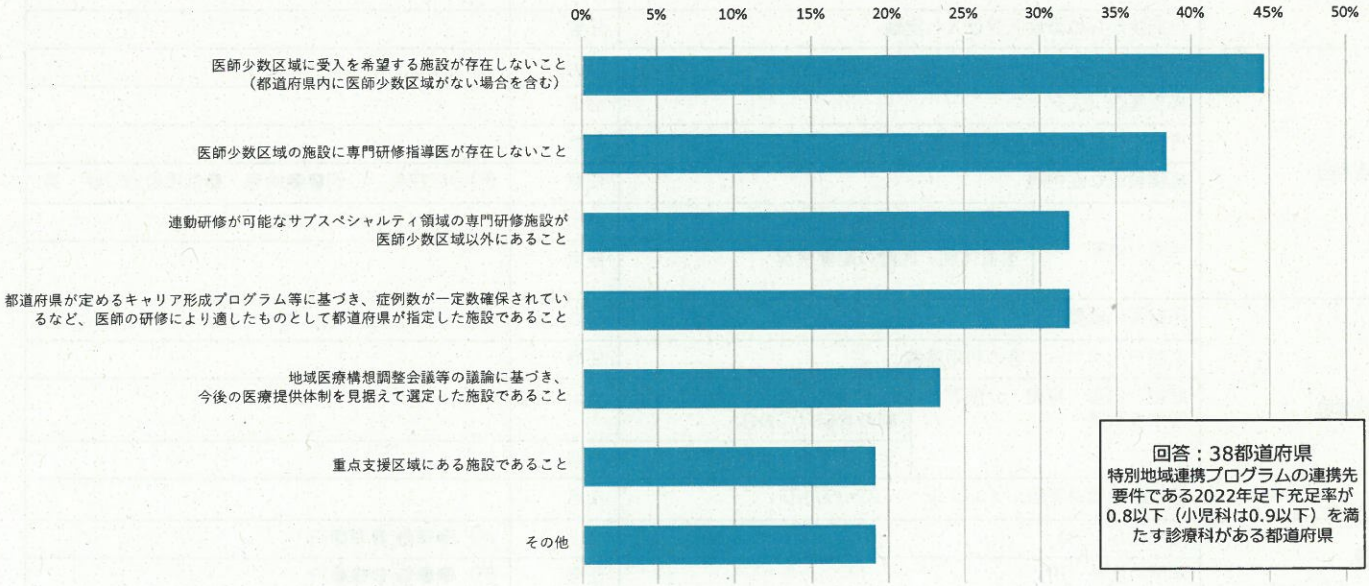
○ 特別地域連携プログラムにおいては、連携先で研修する期間は1年間以上と設定することとしている。

参考：医師少数区域以外の施設に関する都道府県の考え

○ 都道府県に対するアンケートにおいては、「都道府県が候補とする施設」の選定にあたって医師少数区域以外の施設を設定できる状況として考慮すべき要素について、医師少数区域に専攻医の受入体制がない場合等の回答が多かった。

<アンケート項目>
特別地域連携プログラムの連携先要件の「都道府県が候補とする施設」について、（略）、貴県において、仮に専攻医の連携先として受入を行う場合に、**医師少数区域以外の所在する施設を選定するとしたら、その理由として考慮すべき要素や含めるべき内容としてどのようなことがありますか。**（複数選択可）

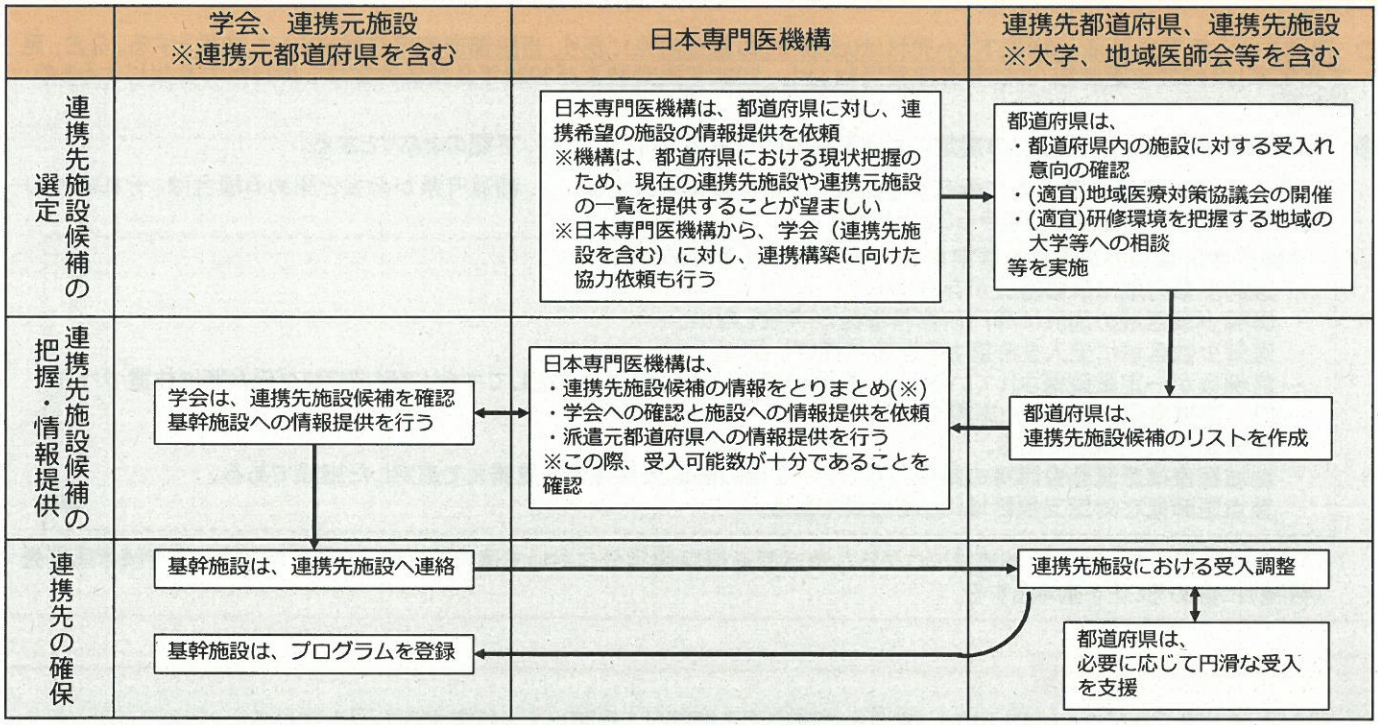
医師少数区域以外の施設を設定できる状況として考慮すべき要素等



※ 令和7年9月に医政局医事課が都道府県を対象として実施した「専門研修に係る都道府県アンケート」の結果の提供を受けて作成

特別地域連携プログラムの連携先確保に向けた具体的な手順

○ 連携先の確保のため、都道府県への連携先施設候補のリストの作成依頼を行った。
○ 今後、取りまとめたリストを各領域学会等に提供し、基幹施設に連携先確保及びプログラム策定を進めていただく予定。



※　日本専門医機構を中心とし、都道府県の過度の負担に配慮しながら、関係者が協力できる仕組みを構築。
※　受入希望（受入可能数等を含む。）の把握、連携元や専攻医等が必要とする情報の収集等の取組を通して、連携元と連携先の調整及び専攻医による前向きな応募を後押し。

23

情報収集項目①

項目	詳細		回答要件	記入例
病院の概要	所在市町村		必須	例）○○市
	二次医療圏の名称		必須	
	医師少数区域に所在する（○/×）		必須	
	病院の紹介がされているURL（病院のホームページ等）		任意	
専攻医の受入態勢	専門研修施設の認定基準を満たす		必須	
	受入可能な人数（人/年）		必須	例）202○年度　○人
	他病院からの専攻医受け入れ実績		任意	
研修内容	指導医数（人）		必須	
	専攻医数（人）		必須	
	専攻医の平均受け持ち患者数（人）		任意	
	経験可能な症例等		任意	例)○○疾患　○例●●疾患　●例手術週○件　等
	当直の体制	専攻医の当直回数（回/月）	必須	
		当直体制・医師の配置状況	任意	
勤務環境	医局等の概要		任意	
	文献データベース等の利用環境		任意	
	妊娠・出産・育児・介護等に関する事項	妊娠・出産をサポートする体制の有無（○/×）	必須	
		院内保育所の有無（○/×）	任意	
	専攻医の勤怠管理、メンタルヘルスへの対応		任意	
待遇	月の給与（円）		必須	例）●●●,●●●円
	年間の賞与（円）		任意	例）●●●,●●●円

24

情報収集項目②

令和 8年1月21日 令和7年度第4回 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会　資料2－1（日本専門医機構資料）

項目	詳細	回答要件	記入例
宿舎（寮）	単身用の有無（○/×）	必須	○の場合の例） 築○年　3LDK　病院まで徒歩○分　等
	世帯用の有無（○/×）		
住居費への手当	（宿舎以外に住む場合）住居費への手当の有無（○/×）	必須	
交通費（通勤費用）への手当	交通費（通勤費用）への手当の有無（○/×）	必須	
引っ越し（移転）への手当	引っ越し（移転）に関連する手当の有無（○/×）	必須	手当が出る場合の例）転居費用を○○円まで支給
研修プログラムの特徴	自由記載	必須	例） 期間施設、連携施設等である場合は、どのような研修プログラムを実施しているかの説明。病院やプログラムの中で掲げている理念や、どのような指導体制を取っているか等を記載。連携施設でない場合も、特別地域連携プログラムの連携先としてどのような研修が行えるかを記載。適宜病院のホームページ等の情報が掲載されているURLを記載するなども可能。
当院で研修を行う魅力・ＰＲポイント	自由記載	任意	例） 魅力として掲げているＰＲポイント（専門研修の内容、地域の魅力、福利厚生等）について、幅広く記載。適宜病院のホームページ等の情報が掲載されているURLを記載するなども可能。
連携調整に関する連絡先	担当部署・担当者	任意	例）●●課●●研修センター　山田
	電話番号		例）000-000-0000
	メールアドレス		例）○○○@○○○○

25

特別地域連携プログラムの受入可能数（令和8年3月13日時点の集計結果）

令和 8年3月18日 令和7年度第5回 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会　資料1－1（日本専門医機構資料）

○　現時点（令和8年3月13日時点）で集計した特別地域連携プログラムの連携先候補施設の受入可能数は、下表のとおり。引き続き、都道府県や学会の協力を得ながら、連携先施設候補のリストの収集を進める予定。

	受入可能数（3/13時点の集計結果）	特別地域連携プログラム採用上限数
内科	411	89
小児科	109	40
皮膚科	45	27
精神科	74	27
整形外科	74	4
眼科	37	21
耳鼻咽喉科	28	15
泌尿器科	28	17
脳神経外科	41	9
放射線科	54	12
麻酔科	92	25
形成外科	30	11
リハビリテーション科	27	3

26

5. 参考資料

令和９(2027)年度シーリング（案）を踏まえた論点

【現状】

○　令和９(2027)年度専攻医募集については、令和８(2026)年度専攻医募集において取り入れられたシーリングの仕組みが基本的には維持されるとともに、特別地域連携プログラムの連携先の要件についても本部会の議論に沿った形で必要な見直しを行う方針とされている。

○　前回の議論においては、今後に向けて、連携プログラムの連携期間や連携先の要件、指導医派遣の詳細な分析をした上で、データに基づいた議論が必要である旨の指摘があった。

○　特別地域連携プログラムについては、研修施設や都道府県、学会等の協力を得ながら、連携先となる施設の候補の一覧が作成されるなど、連携先確保を後押しする取組が進んでいる。また、受入可能数についても、一定の受入数が確保されていることが確認された。

【論点】

○　令和９(2027)年度シーリング（案）について、これまでの本部会での議論が反映されていると考えられ、本案を踏まえて都道府県への意見の聴取等を行うこととしてはどうか。

○　また、今後に向けて、専門研修指導医の派遣実績については、前回の議論において派遣先や派遣期間等に関する分析が必要との指摘があったところ、その他に今後の議論で必要となる分析を行うにあたり、留意すべき事項があるか。本日の意見も踏まえ、今後、日本専門医機構において必要な分析を行うこととしてはどうか。
　また、医師がより不足する地域への指導医の派遣や、指導医の新たな派遣を促す仕組みについて、既存の医療提供体制に与える影響を十分考慮しつつ、日本専門医機構及び本部会において検討することとしてはどうか。

○　特別地域連携プログラムについて、連携先候補施設の一覧の作成等の一定の取組が進んだことや、受入ニーズがある状況を踏まえ、今後のさらなる推進に向けた取組としてどのような対応・工夫が考えられるか。

令和９(2027)年度専攻医募集に係る今後の進め方（案）

３月18日(本日)	・日本専門医機構によるシーリング(案)の提示 ⇒本部会の議論を踏まえ、都道府県知事に対し、意見の提出を依頼 ※プログラム情報は、６月下旬以降に日本専門医機構から都道府県に対して提供される見込み
夏～秋	・本部会において都道府県知事から提出された意見を踏まえ議論 ・大臣意見 ⇒各研修施設や学会は、厚生労働大臣の意見・要請を踏まえてプログラムを修正
11月	・募集開始（予定）

別添資料２

資料6-3

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

内科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.866	75										
青森県	0.683	18										
岩手県	0.711	25										
宮城県	0.987	60										
秋田県	0.697	18										
山形県	0.699	16										
福島県	0.717	25										
茨城県	0.746	55										
栃木県	0.935	39										
群馬県	0.788	23										
埼玉県	0.681	108										
千葉県	0.774	121										
東京都	1.330	531	383	333	50	0	148	78	70	531	2	
神奈川県	0.865	212										
新潟県	0.740	27										
富山県	0.887	16										
石川県	1.009	31										
福井県	0.820	19										
山梨県	0.831	18										
長野県	0.821	31										
岐阜県	0.904	38										
静岡県	0.773	55										
愛知県	0.849	176										
三重県	0.886	31										
滋賀県	0.975	42										
京都府	1.211	79	68	59	9	0	11	6	6	79	3	連携枠端数－1
大阪府	1.074	214										
兵庫県	0.990	186										
奈良県	1.000	40										
和歌山県	1.114	26	24	21	3	0	2	1	1	26	1	
鳥取県	1.042	13	18	12	1	5	0	0	0	18	1	
島根県	0.999	16										
岡山県	1.131	57	49	43	6	0	8	3	5	57	4	
広島県	0.993	52										
山口県	0.843	16										
徳島県	1.131	12	22	16	0	6	0	0	0	22	0	
香川県	0.957	16										
愛媛県	0.886	18										
高知県	0.829	15										
福岡県	1.239	151	138	120	18	0	13	7	7	151	0	連携枠端数－1
佐賀県	1.053	18										
長崎県	1.136	32	41	29	3	9	0	0	0	41	0	
熊本県	1.093	33	40	40	0	0	0	0	0	40	0	
大分県	1.038	27										
宮崎県	0.820	19										
鹿児島県	1.052	30	36	36	0	0	0	0	0	36	0	
沖縄県	1.017	29										
			819	709	90	20	182	95	89	1,001	11	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、内科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は49名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

小児科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.971	18										
青森県	0.892	4										
岩手県	0.881	2										
宮城県	0.908	6										
秋田県	1.113	2										
山形県	0.950	2										
福島県	0.864	4										
茨城県	0.818	8										
栃木県	0.967	9										
群馬県	0.991	9										
埼玉県	0.774	29										
千葉県	0.711	21										
東京都	1.230	117	66	57	9	0	51	14	37	117	2	
神奈川県	0.833	32										
新潟県	0.918	7										
富山県	1.060	3										
石川県	0.966	4										
福井県	1.015	3										
山梨県	1.059	3										
長野県	1.038	7	9	9	0	0	0	0	0	9	0	
岐阜県	0.851	6										
静岡県	0.813	11										
愛知県	0.790	32										
三重県	0.879	4										
滋賀県	0.949	4										
京都府	1.248	9	10	10	0	0	0	0	0	10	0	
大阪府	0.955	50										
兵庫県	1.110	32	28	24	4	0	4	1	3	32	0	
奈良県	1.024	6	6	5	1	0	0	0	0	6	0	
和歌山県	1.075	4										
鳥取県	1.450	2										
島根県	0.979	3										
岡山県	1.041	8	14	8	0	6	0	0	0	14	0	
広島県	0.814	7										
山口県	0.687	4										
徳島県	1.097	2										
香川県	1.101	4										
愛媛県	0.969	5										
高知県	0.719	3										
福岡県	0.964	23										
佐賀県	0.868	1										
長崎県	1.058	3										
熊本県	0.896	4										
大分県	1.056	2										
宮崎県	0.845	3										
鹿児島県	0.805	5										
沖縄県	0.847	6										
			133	113	14	6	55	15	40	188	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、小児科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は9名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

皮膚科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.862	12										
青森県	0.704	3										
岩手県	0.684	3										
宮城県	0.862	3										
秋田県	0.626	1										
山形県	0.776	0										
福島県	0.475	1										
茨城県	0.684	5										
栃木県	0.845	5										
群馬県	0.767	3										
埼玉県	0.850	11										
千葉県	0.702	9										
東京都	1.528	66	41	36	5	0	25	6	19	66	1	
神奈川県	0.936	14										
新潟県	0.757	2										
富山県	0.903	2										
石川県	1.225	6	3	3	0	0	3	1	2	6	0	
福井県	1.000	2										
山梨県	0.799	2										
長野県	0.661	3										
岐阜県	0.798	4										
静岡県	0.786	6										
愛知県	1.038	25	22	19	3	0	3	1	2	25	2	
三重県	0.845	2										
滋賀県	0.815	5										
京都府	1.182	11	7	6	1	0	4	0	4	11	1	
大阪府	0.991	35										
兵庫県	1.034	13	14	14	0	0	0	0	0	14	0	
奈良県	1.125	4										
和歌山県	0.923	4										
鳥取県	0.804	2										
島根県	0.886	2										
岡山県	1.113	6	6	5	1	0	0	0	0	6	1	
広島県	0.895	5										
山口県	0.892	2										
徳島県	0.980	2										
香川県	0.892	2										
愛媛県	0.695	3										
高知県	0.631	3										
福岡県	0.974	12										
佐賀県	0.934	2										
長崎県	0.999	2										
熊本県	1.083	4										
大分県	0.937	4										
宮崎県	0.780	1										
鹿児島県	0.703	4										
沖縄県	0.943	1										
			93	83	10	0	35	8	27	128	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、皮膚科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は5名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

精神科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	精神科指定医連携枠	シーリング数（通常＋連携等＋指定医連携枠）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.963	14											
青森県	0.794	3											
岩手県	0.845	4											
宮城県	0.893	9											
秋田県	1.060	3											
山形県	0.993	5											
福島県	0.843	8											
茨城県	0.688	7											
栃木県	0.752	12											
群馬県	0.907	11											
埼玉県	0.690	31											
千葉県	0.747	20											
東京都	1.255	98	74	64	10	0	24	6	18	0	98	2	
神奈川県	0.910	45											
新潟県	0.666	4											
富山県	0.988	4											
石川県	1.055	8	9	5	1	3	2	0	2	0	11	0	
福井県	1.043	4											
山梨県	0.981	5											
長野県	0.820	7											
岐阜県	0.645	5											
静岡県	0.718	8											
愛知県	0.833	29											
三重県	0.859	3											
滋賀県	0.774	5											
京都府	1.033	15	13	11	2	0	2	1	1	0	15	0	
大阪府	0.869	46											
兵庫県	0.906	21											
奈良県	0.877	11											
和歌山県	0.964	6											
鳥取県	1.356	5											
島根県	1.172	4											
岡山県	1.084	10	9	8	1	0	1	0	1	1	11	1	
広島県	1.009	6	12	12	0	0	0	0	0	0	12	0	
山口県	1.065	3											
徳島県	1.226	2											
香川県	1.094	6	5	4	1	0	1	0	1	0	6	1	
愛媛県	0.896	2											
高知県	1.174	5											
福岡県	1.320	25	25	23	2	0	0	0	0	0	25	1	
佐賀県	1.429	9	5	4	1	0	4	0	4	0	9	1	
長崎県	1.253	4											
熊本県	1.430	8	13	8	0	5	0	0	0	0	13	0	
大分県	1.180	5											
宮崎県	1.220	2											
鹿児島県	1.213	4											
沖縄県	1.607	7	8	7	0	1	0	0	0	0	8	0	
			173	146	18	9	34	7	27	1	208	6	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、精神科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は9名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「-1」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

整形外科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.853	28										
青森県	0.768	4										
岩手県	0.675	5										
宮城県	0.892	9										
秋田県	0.804	5										
山形県	0.935	4										
福島県	0.791	10										
茨城県	0.735	11										
栃木県	0.860	7										
群馬県	0.924	8										
埼玉県	0.683	31										
千葉県	0.814	37										
東京都	1.076	118										
神奈川県	0.910	46										
新潟県	0.730	10										
富山県	0.848	2										
石川県	0.998	9										
福井県	0.924	2										
山梨県	1.050	6										
長野県	0.854	7										
岐阜県	0.759	7										
静岡県	0.859	13										
愛知県	0.766	56										
三重県	0.959	5										
滋賀県	0.981	7										
京都府	1.105	18	17	15	2	0	1	1	1	18	0	連携枠端数－1
大阪府	1.059	43										
兵庫県	1.071	49										
奈良県	1.169	9	8	7	1	0	1	1	0	9	1	
和歌山県	1.218	3										
鳥取県	0.992	3										
島根県	0.858	1										
岡山県	1.002	19										
広島県	0.989	15										
山口県	0.912	6										
徳島県	0.936	4										
香川県	1.173	3										
愛媛県	0.981	4										
高知県	0.869	4										
福岡県	1.289	42	33	29	4	0	9	6	3	42	1	
佐賀県	1.239	2										
長崎県	1.162	5										
熊本県	1.116	5										
大分県	0.893	5										
宮崎県	1.025	4										
鹿児島県	1.012	8										
沖縄県	1.114	14										
			58	51	7	0	11	8	4	69	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、整形外科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は12名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

眼科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.781	10										
青森県	0.548	4										
岩手県	0.757	1										
宮城県	0.899	7										
秋田県	0.680	1										
山形県	0.803	2										
福島県	0.712	4										
茨城県	0.729	4										
栃木県	0.780	2										
群馬県	0.768	2										
埼玉県	0.805	11										
千葉県	0.795	17										
東京都	1.461	68	44	38	6	0	24	11	13	68	1	
神奈川県	0.905	22										
新潟県	0.704	4										
富山県	1.024	1										
石川県	0.996	5										
福井県	0.928	1										
山梨県	1.021	3										
長野県	0.768	1										
岐阜県	0.873	3										
静岡県	0.922	5										
愛知県	1.030	27	23	20	3	0	4	2	2	27	1	
三重県	0.950	5										
滋賀県	0.944	5										
京都府	1.199	17	8	7	1	0	9	4	5	17	0	
大阪府	1.167	26	26	23	3	0	0	0	0	26	0	
兵庫県	1.103	12	14	14	0	0	0	0	0	14	0	
奈良県	0.991	3										
和歌山県	0.966	1										
鳥取県	0.959	1										
島根県	0.896	2										
岡山県	1.044	7	6	5	1	0	1	1	1	7	0	連携枠端数－1
広島県	0.947	5										
山口県	0.810	2										
徳島県	0.946	1										
香川県	1.038	2										
愛媛県	1.049	2										
高知県	0.751	3										
福岡県	0.997	12										
佐賀県	0.861	0										
長崎県	0.977	3										
熊本県	0.925	5										
大分県	0.694	2										
宮崎県	1.007	2										
鹿児島県	0.881	5										
沖縄県	0.923	3										
			121	107	14	0	38	18	21	159	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、眼科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は6名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

耳鼻咽喉科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.915	13										
青森県	0.844	1										
岩手県	0.653	1										
宮城県	0.948	4										
秋田県	0.881	2										
山形県	1.033	1										
福島県	0.834	2										
茨城県	0.664	1										
栃木県	0.876	3										
群馬県	0.680	2										
埼玉県	0.696	8										
千葉県	0.775	8										
東京都	1.236	53	30	26	4	0	23	12	12	53	2	連携枠端数－1
神奈川県	0.889	14										
新潟県	0.786	6										
富山県	0.952	1										
石川県	1.009	3										
福井県	1.385	0										
山梨県	1.055	1										
長野県	0.745	3										
岐阜県	0.999	2										
静岡県	0.915	6										
愛知県	0.940	16										
三重県	0.839	1										
滋賀県	1.118	2										
京都府	1.403	7	6	5	1	0	1	0	1	7	1	
大阪府	1.041	13	16	16	0	0	0	0	0	16	0	
兵庫県	1.017	10	10	10	0	0	0	0	0	10	0	
奈良県	1.139	2										
和歌山県	1.118	3										
鳥取県	1.157	2										
島根県	0.812	0										
岡山県	1.101	7	3	3	0	0	4	2	2	7	0	
広島県	1.053	3										
山口県	1.025	2										
徳島県	1.201	1										
香川県	1.193	1										
愛媛県	1.204	3										
高知県	0.750	1										
福岡県	0.985	10										
佐賀県	0.938	1										
長崎県	1.006	3										
熊本県	0.898	1										
大分県	0.791	1										
宮崎県	0.792	0										
鹿児島県	0.815	1										
沖縄県	0.861	2										
			65	60	5	0	28	14	15	93	3	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、耳鼻咽喉科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は4名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

泌尿器科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	1.001	12										
青森県	1.030	5										
岩手県	1.012	4										
宮城県	0.796	6										
秋田県	1.055	3										
山形県	1.021	1										
福島県	0.838	3										
茨城県	0.755	6										
栃木県	0.752	6										
群馬県	0.903	5										
埼玉県	0.689	9										
千葉県	0.920	16										
東京都	1.102	72	45	39	6	0	27	14	14	72	4	連携枠端数－1
神奈川県	0.913	19										
新潟県	0.558	3										
富山県	0.836	2										
石川県	1.148	1										
福井県	1.072	2										
山梨県	0.987	4										
長野県	0.790	4										
岐阜県	0.736	2										
静岡県	0.944	7										
愛知県	0.651	20										
三重県	0.860	3										
滋賀県	1.060	4										
京都府	1.334	12	8	7	1	0	4	2	2	12	1	
大阪府	1.151	23	24	24	0	0	0	0	0	24	0	
兵庫県	1.014	13										
奈良県	1.043	5										
和歌山県	1.019	3										
鳥取県	1.095	1										
島根県	0.987	3										
岡山県	0.950	10										
広島県	0.804	6										
山口県	1.188	3										
徳島県	1.203	0										
香川県	1.321	0										
愛媛県	1.254	2										
高知県	1.100	1										
福岡県	1.074	17	16	14	2	0	1	1	1	17	0	連携枠端数－1
佐賀県	1.003	0										
長崎県	1.010	5										
熊本県	1.135	4										
大分県	1.007	2										
宮崎県	1.003	3										
鹿児島県	0.902	5										
沖縄県	0.909	2										
			93	84	9	0	32	17	17	125	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、泌尿器科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は6名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

脳神経外科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	1.083	9	9	9	0	0	0	0	0	9	0	
青森県	0.524	1										
岩手県	0.896	1										
宮城県	0.718	3										
秋田県	0.807	2										
山形県	0.747	2										
福島県	0.801	3										
茨城県	0.845	3										
栃木県	0.637	4										
群馬県	0.778	3										
埼玉県	0.631	11										
千葉県	0.739	10										
東京都	1.129	44	30	26	4	0	14	5	9	44	4	
神奈川県	0.783	13										
新潟県	0.727	3										
富山県	0.816	0										
石川県	0.969	4										
福井県	1.065	1										
山梨県	0.988	0										
長野県	0.822	2										
岐阜県	0.853	2										
静岡県	0.882	3										
愛知県	0.785	18										
三重県	0.893	2										
滋賀県	0.814	0										
京都府	1.032	6										
大阪府	1.091	18										
兵庫県	0.944	11										
奈良県	0.928	2										
和歌山県	1.130	0										
鳥取県	0.850	1										
島根県	0.676	0										
岡山県	1.144	5										
広島県	0.934	4										
山口県	0.979	2										
徳島県	1.088	2										
香川県	1.046	1										
愛媛県	1.087	1										
高知県	1.072	2										
福岡県	1.067	14										
佐賀県	1.069	0										
長崎県	0.787	1										
熊本県	0.817	2										
大分県	0.871	1										
宮崎県	0.696	0										
鹿児島県	0.987	4										
沖縄県	0.899	1										
			39	35	4	0	14	5	9	53	4	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、脳神経外科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は4名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

放射線科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.720	10										
青森県	0.574	5										
岩手県	0.527	1										
宮城県	0.945	10										
秋田県	0.608	1										
山形県	0.935	2										
福島県	0.705	4										
茨城県	0.508	4										
栃木県	0.723	4										
群馬県	0.926	6										
埼玉県	0.563	14										
千葉県	0.688	19										
東京都	1.331	49	45	39	6	0	4	1	3	49	4	
神奈川県	0.831	24										
新潟県	0.572	3										
富山県	0.963	2										
石川県	1.356	5										
福井県	1.345	1										
山梨県	1.067	3										
長野県	0.634	2										
岐阜県	0.676	3										
静岡県	0.707	8										
愛知県	0.864	27										
三重県	0.975	5										
滋賀県	1.135	3										
京都府	1.636	14	8	7	1	0	6	2	4	14	0	
大阪府	1.204	15	24	24	0	0	0	0	0	24	0	
兵庫県	1.009	19										
奈良県	1.438	6	3	3	0	0	3	1	2	6	0	
和歌山県	1.135	3										
鳥取県	1.159	1										
島根県	1.260	2										
岡山県	1.419	8	6	5	1	0	2	1	1	8	0	
広島県	0.897	4										
山口県	1.056	3										
徳島県	1.305	2										
香川県	1.135	1										
愛媛県	1.570	6	3	3	0	0	3	1	2	6	0	
高知県	0.991	3										
福岡県	1.108	15	15	14	1	0	0	0	0	15	1	
佐賀県	1.092	2										
長崎県	1.239	1										
熊本県	1.183	5										
大分県	1.122	3										
宮崎県	1.082	2										
鹿児島県	1.071	1										
沖縄県	1.029	4										
			104	95	9	0	18	6	12	122	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、放射線科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は6名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

麻酔科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	1.261	19	20	20	0	0	0	0	0	20	0	
青森県	0.703	3										
岩手県	0.579	3										
宮城県	0.929	11										
秋田県	0.676	3										
山形県	0.592	2										
福島県	0.666	5										
茨城県	0.683	4										
栃木県	0.929	5										
群馬県	0.899	5										
埼玉県	0.781	29										
千葉県	0.795	21										
東京都	1.282	77	63	55	8	0	14	3	11	77	5	
神奈川県	0.861	48										
新潟県	0.630	4										
富山県	1.082	2										
石川県	1.115	3										
福井県	0.812	2										
山梨県	0.967	1										
長野県	0.881	4										
岐阜県	0.588	5										
静岡県	0.780	8										
愛知県	0.798	32										
三重県	0.609	6										
滋賀県	0.974	7										
京都府	1.244	12	12	10	2	0	0	0	0	12	0	
大阪府	1.065	29	34	34	0	0	0	0	0	34	0	
兵庫県	1.101	32	21	21	0	0	11	4	7	32	0	
奈良県	0.940	3										
和歌山県	0.863	5										
鳥取県	1.045	3										
島根県	1.231	2										
岡山県	1.196	15	8	7	1	0	7	1	6	15	0	
広島県	1.012	10	11	11	0	0	0	0	0	11	0	
山口県	0.897	2										
徳島県	1.028	2										
香川県	1.044	3										
愛媛県	0.850	3										
高知県	0.935	3										
福岡県	1.135	20	20	20	0	0	0	0	0	20	0	
佐賀県	0.893	3										
長崎県	0.995	3										
熊本県	1.015	4										
大分県	0.950	6										
宮崎県	0.870	2										
鹿児島県	0.988	5										
沖縄県	1.192	7	7	6	0	1	1	0	1	8	0	
			196	184	11	1	33	8	25	229	5	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、麻酔科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は8名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

形成外科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.690	8										
青森県	0.457	2										
岩手県	0.544	2										
宮城県	0.996	3										
秋田県	0.321	0										
山形県	0.429	2										
福島県	0.589	1										
茨城県	0.493	3										
栃木県	0.904	6										
群馬県	0.402	2										
埼玉県	0.692	12										
千葉県	0.780	11										
東京都	2.281	41	30	26	4	0	11	3	8	41	4	
神奈川県	0.900	24										
新潟県	0.477	2										
富山県	0.741	3										
石川県	1.094	2										
福井県	0.521	1										
山梨県	0.490	1										
長野県	0.918	2										
岐阜県	0.387	1										
静岡県	0.863	5										
愛知県	0.712	12										
三重県	0.326	1										
滋賀県	0.682	2										
京都府	0.948	8										
大阪府	1.179	16	16	16	0	0	0	0	0	16	0	
兵庫県	0.919	12										
奈良県	0.820	3										
和歌山県	0.616	2										
鳥取県	0.472	2										
島根県	0.691	1										
岡山県	1.155	7	3	3	0	0	4	1	3	7	0	
広島県	0.578	3										
山口県	0.349	0										
徳島県	1.107	2										
香川県	0.962	1										
愛媛県	0.779	0										
高知県	0.553	0										
福岡県	1.216	7	9	9	0	0	0	0	0	9	0	
佐賀県	0.784	0										
長崎県	0.942	2										
熊本県	0.510	3										
大分県	0.764	4										
宮崎県	0.436	0										
鹿児島県	0.502	2										
沖縄県	1.100	3										
			58	54	4	0	15	4	11	73	4	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、形成外科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は4名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

日本専門医機構　2027年度プログラム募集シーリング数(案)

リハビリテーション科

	2022年足下充足率（※1）	過去3年間平均採用数（2023－25年度）	通常募集プログラム数	うち基本数	うち加算分	うち留意分（※2）	連携等プログラム数	うち連携プログラム	うち特別地域連携プログラム	シーリング数（通常＋連携等）	常勤派遣分（※3）	備考（※4）
北海道	0.843	4										
青森県	0.464	1										
岩手県	0.614	0										
宮城県	0.967	3										
秋田県	0.677	0										
山形県	0.451	0										
福島県	0.331	1										
茨城県	0.519	3										
栃木県	1.150	1										
群馬県	0.758	1										
埼玉県	0.675	7										
千葉県	1.013	7										
東京都	1.428	21	18	16	2	0	3	0	3	21	2	
神奈川県	0.879	9										
新潟県	0.635	2										
富山県	0.951	0										
石川県	0.941	0										
福井県	0.925	1										
山梨県	0.948	0										
長野県	0.729	2										
岐阜県	0.400	0										
静岡県	1.040	6										
愛知県	0.893	14										
三重県	0.649	2										
滋賀県	1.094	1										
京都府	1.414	5										
大阪府	1.181	9	10	10	0	0	0	0	0	10	0	
兵庫県	1.015	10										
奈良県	1.396	1										
和歌山県	1.241	1										
鳥取県	1.462	0										
島根県	1.690	0										
岡山県	1.064	5										
広島県	0.994	10										
山口県	0.904	1										
徳島県	1.205	0										
香川県	0.653	0										
愛媛県	1.030	1										
高知県	0.585	1										
福岡県	1.239	6	6	6	0	0	0	0	0	6	0	
佐賀県	0.682	0										
長崎県	0.906	1										
熊本県	0.908	2										
大分県	0.813	0										
宮崎県	0.624	1										
鹿児島県	1.242	2										
沖縄県	1.262	1										
			34	32	2	0	3	0	3	37	2	

※1　連携先の足下充足率について、四捨五入を行っていない値で0.8以下（小児科は0.9以下）に該当する場合に赤色セルとなっている。

※2　通常プログラムの留意分の算出に当たり、リハビリテーション科の全国専攻医採用数（２０２３－２５年度の過去３年間の平均）の1.7%は2名となる。

※3　枠の取り扱いは通常プログラムでの採用と同様とするが、常勤派遣分での採用については次年度以降の採用実績には計上しない。

※4　備考欄に記載の「連携枠端数」は、各連携プログラムの枠数を2025(令和７)年度の各連携プログラムの枠数の割合に応じて算出し四捨五入するために生じる端数（本来設定可能な枠数である「連携等プログラム数」から、算出した各連携プログラムの枠数の合計を引いた差分）であり、各連携プログラムの実際の枠数の設定においては、「－１」の場合はいずれかの連携プログラムを記載の数字より１枠減らし、「＋１」の場合はいずれかの連携プログラムの枠を記載の数字より１枠増やす必要があることを示している。

令和9(2027)年度　県内の専門研修基幹施設及び診療領域

【資料6-4】

（2026.6.19現在）

	施設名	内科	総合診療科	精神科	外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	救急科	脳神経外科	小児科	麻酔科	放射線科	病理	眼科	形成外科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリテーション科	臨床検査	合計
	県内基幹病院数	13	10	5	5	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	4	3	2	2	1	77
1	川崎医科大学附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19
2	岡山大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		18
3	倉敷中央病院	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				15
4	岡山医療センター	○	○		○																3
5	岡山協立病院	○	○																		2
6	水島協同病院	○	○																		2
7	川崎医科大学総合医療センター	○			○											○					3
8	岡山済生会総合病院	○																			1
9	岡山市立市民病院	○																			1
10	岡山赤十字病院	○							○												2
11	岡山労災病院	○																			1
12	心臓病センター榊原病院	○																			1
13	津山中央病院	○																			1
14	岡山県精神科医療センター			○																	1
15	慈圭病院			○																	1
16	林道倫精神科神経科病院			○																	1
17	倉敷成人病センター					○															1
18	哲西町診療所		○																		1
19	奈義ファミリークリニック		○																		1
20	倉敷中央病院リバーサイド		○																		1
21	笠岡第一病院		○																		1

令和9(2027)年度　県内の専門研修施設一覧

【資料6-5】

◎（基幹施設）、☆（基幹施設であり他の基幹施設の連携施設）、〇（連携施設）

（2026.6.19現在）

医療圏等	市町名	施設名	内科	総合診療	精神科	外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	救急科	脳神経外科	小児科	麻酔科	放射線科	病理	眼科	形成外科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリ	臨床検査	◎	☆	〇	計
	総合計	基幹施設	0	1	0	1	3	3	1	0	0	0	0	2	1	1	2	3	2	0	1	21			
		基幹施設であり連携施設	13	9	5	4	1	0	2	4	3	3	3	1	2	2	2	0	0	2	0		56		
		連携施設	61	60	26	30	11	37	22	21	12	21	12	11	12	9	11	4	16	14	1			391	
	総合計		74	70	31	35	15	40	25	25	15	24	15	14	15	12	15	7	18	16	2				468
	計	基幹施設	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	8			
		基幹施設であり連携施設	9	3	4	2	0	0	1	2	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0		27		
		連携施設	29	26	16	14	8	17	9	7	8	8	10	9	8	6	7	4	7	5	1			199	
	合計		38	29	20	17	9	18	10	9	9	9	11	10	9	7	9	5	8	6	1				234
県南東部	岡山市	岡山大学病院	☆	☆	☆	◎	◎	◎	☆	☆	☆	☆	☆	◎	☆	◎	◎	◎	◎	☆		8	10	0	18
		川崎医科大学総合医療センター	☆	〇	〇	☆	〇	〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	〇	☆	〇	〇	〇	〇	0	3	15	18
		岡山済生会総合病院	☆	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		0	1	17	18
		岡山赤十字病院	☆	〇	〇	〇	〇	〇	〇	☆	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇			0	2	15	17
		岡山医療センター	☆	☆		☆	〇	〇	〇		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇			0	3	12	15
		岡山市立市民病院	☆	〇		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇			0	1	14	15
		岡山労災病院	☆		〇	〇		〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	〇	〇		〇			0	1	12	13
		岡山協立病院	☆	☆		〇		〇	〇				〇		〇							0	2	5	7
		岡山中央病院	〇	〇		〇	〇	〇	〇	〇			〇	〇								0	0	9	9
		岡山旭東病院	〇	〇						〇	〇		〇	〇								0	0	6	6
		岡山西大寺病院	〇	〇				〇												〇		0	0	4	4
		旭川荘療育・医療センター			〇			〇				〇								〇		0	0	4	4
		光生病院	〇	〇				〇														0	0	3	3
		重井医学研究所附属病院	〇			〇						〇										0	0	3	3
		心臓病センター榊原病院	☆												〇							0	1	1	2
		岡山紀念病院	〇	〇																		0	0	2	2
		岡山博愛会病院	〇	〇																		0	0	2	2
		コープみんなの診療所	〇																			0	0	1	1
		国民健康保険福渡病院	〇	〇																		0	0	2	2
		岡山ひだまりの里病院	〇		〇																	0	0	2	2
		岡山県精神科医療センター		〇	☆																	0	1	1	2
		三宅医院		〇			〇					〇					〇					0	0	4	4
		竜操整形外科病院						〇					〇									0	0	2	2
		岡山市立せのお病院	〇																			0	0	1	1
		岡山東中央病院	〇																			0	0	1	1
		コープ大野辻クリニック	〇																			0	0	1	1
		コープ西大寺診療所	〇																			0	0	1	1
		済生会吉備病院	〇																			0	0	1	1
		かとう内科並木通り診療所		〇																		0	0	1	1
		金川病院		〇																		0	0	1	1
		医療法人 佐藤医院		〇																		0	0	1	1
		ももたろう往診クリニック		〇																		0	0	1	1
		森脇内科医院		〇																		0	0	1	1
		安田内科医院		〇																		0	0	1	1
		慈圭病院			☆																	0	1	0	1
		林道倫精神科神経科病院			☆																	0	1	0	1
		岡山県精神保健福祉センター附属診療所			〇																	0	0	1	1

医療圏等	市町名	施設名	内科	総合診療	精神科	外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	救急科	脳神経外科	小児科	麻酔科	放射線科	病理	眼科	形成外科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリ	臨床検査	◎	☆	○	計
		岡山市こころの健康センター			○																	0	0	1	1
		河田病院			○																	0	0	1	1
		山陽病院			○																	0	0	1	1
		たかはしクリニック			○																	0	0	1	1
		東古松サンクト診療所			○																	0	0	1	1
		まな星クリニック			○																	0	0	1	1
		万成病院			○																	0	0	1	1
		おおもと病院				○																0	0	1	1
		藤田病院				○																0	0	1	1
		岡山二人クリニック					○															0	0	1	1
		岡山東部脳神経外科病院									○											0	0	1	1
		岡山画像診断センター												○								0	0	1	1
		河田外科形成外科															○					0	0	1	1
		淳風会ロングライフホスピタル	○																			0	0	1	1
		岡山済生会外来センター病院	○							○												0	0	2	2
		つばさクリニック岡山	○	○																		0	0	2	2
		川崎医科大学高齢者医療センター	○																			0	0	1	1
	玉野市	たまの病院	○	○		○		○	○			○										0	0	6	6
	玉野市	岡山赤十字玉野病院	○																			0	0	1	1
	玉野市	せいきょう玉野診療所	○																			0	0	1	1
	玉野市	岡南病院			○																	0	0	1	1
	玉野市	由良病院			○																	0	0	1	1
	玉野市	中谷外科病院				○																0	0	1	1
	備前市	備前市国民健康保険市立吉永病院	○	○		○																0	0	3	3
	備前市	備前市国民健康保険市立備前病院	○	○				○														0	0	3	3
	備前市	備前市国民健康保険市立日生病院	○					○														0	0	2	2
	瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	○			○																0	0	2	2
	瀬戸内市	長島愛生園	○																○			0	0	2	2
	赤磐市	赤磐医師会病院	○	○		○		○														0	0	4	4
	赤磐市	うえの内科小児科医院		○																		0	0	1	1
	和気町	平病院	○																			0	0	1	1
	和気町	北川病院		○																		0	0	1	1
	吉備中央町	吉備高原医療リハビリテ-ションセンター						○												○		0	0	2	2
	計	基幹施設	0	1	0	0	2	2	1	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	1	13			
	計	基幹施設であり連携施設	3	4	1	2	1	0	1	2	2	2	2	1	1	2	1	0	0	1	0		26		
	計	連携施設	17	12	6	11	0	14	9	5	3	8	1	1	2	3	3	0	8	8	0			111	
	合計		20	17	7	13	3	16	11	7	5	10	3	3	4	5	5	2	9	9	1				150
		川崎医科大学附属病院	☆	◎	☆	☆	◎	◎	☆	☆	☆	☆	☆	◎	◎	☆	☆	◎	◎	☆	◎	8	11	0	19
		倉敷中央病院	☆	☆	○	☆	◎	◎	◎	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	◎	◎	○	○		5	10	3	18
		倉敷成人病センター	○	○		○	☆	○	○			○	○	○	○	○			○			0	1	11	12
		水島中央病院	○	○		○		○	○	○	○	○							○			0	0	9	9
		水島協同病院	☆	☆		○			○	○					○							0	2	4	6
		倉敷中央病院リバーサイド	○	☆				○				○										0	1	3	4
		倉敷市立市民病院	○	○		○		○	○													0	0	5	5
		倉敷平成病院						○			○					○	○			○		0	0	5	5
		倉敷第一病院	○			○		○											○			0	0	4	4

医療圏等	市町名	施設名	内科	総合診療	精神科	外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	救急科	脳神経外科	小児科	麻酔科	放射線科	病理	眼科	形成外科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリ	臨床検査	◎	☆	○	計
県南西部	倉敷市	倉敷紀念病院	○					○											○	○		0	0	4	4
		松田病院				○		○	○													0	0	3	3
		玉島中央病院						○	○								○		○			0	0	4	4
		玉島協同病院	○	○																		0	0	2	2
		つばさクリニック倉敷	○									○										0	0	2	2
		プライムホスピタル玉島						○		○												0	0	2	2
		しげい病院						○												○		0	0	2	2
		まび記念病院	○																			0	0	1	1
		まきび病院			○																	0	0	1	1
		わに診療所			○																	0	0	1	1
		倉敷仁風ホスピタル			○																	0	0	1	1
		チクバ外科胃腸科肛門科病院				○																0	0	1	1
		倉敷スイートホスピタル						○														0	0	1	1
		藤沢脳神経外科病院									○											0	0	1	1
		ふじおか形成外科・美容外科															○					0	0	1	1
		倉敷リハビリテーション病院																		○		0	0	1	1
		コープリハビリテーション病院																		○		0	0	1	1
		渡辺胃腸科外科病院				○																0	0	1	1
		グリーン在宅クリニック	○																			0	0	1	1
		みずしま協同クリニック	○																			0	0	1	1
		よしみつ小児科医院										○										0	0	1	1
	笠岡市	笠岡第一病院	○	☆				○	○	○		○				○				○		0	1	7	8
		笠岡市立市民病院	○	○				○	○													0	0	4	4
		きのこエスポアール病院			○																	0	0	1	1
		ももの里病院			○																	0	0	1	1
	井原市	井原市立井原市民病院	○			○						○								○		0	0	4	4
	総社市	森下病院	○																			0	0	1	1
		藤井クリニック		○																		0	0	1	1
		薬師寺慈恵病院		○						○												0	0	2	2
		あさのクリニック		○																		0	0	1	1
	浅口市	金光病院	○	○		○			○										○			0	0	5	5
	早島町	南岡山医療センター		○								○							○			0	0	3	3
	矢掛町	矢掛町国民健康保険病院	○	○		○																0	0	3	3
		筒井医院		○																		0	0	1	1
新見	計	基幹施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		基幹施設であり連携施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1		
		連携施設	4	9	1	2	0	2	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			23	
	合計		4	10	1	2	0	2	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				24
高梁	高梁市	高梁中央病院	○	○		○		○	○	○												0	0	6	6
		高梁市国民健康保険成羽病院	○	○						○		○										0	0	4	4
		さきがけホスピタル			○																	0	0	1	1
	新見市	渡辺病院	○	○		○				○												0	0	4	4
		新見中央病院	○	○																		0	0	2	2
		哲西町診療所		☆																		0	1	0	1
		新見市高瀬診療所		○																		0	0	1	1
		新見市油野診療所		○																		0	0	1	1
		新見市国民健康保険神代診療所		○																		0	0	1	1
		新見市国民健康保険新郷診療所		○																		0	0	1	1

医療圏等	市町名	施設名	内科	総合診療	精神科	外科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	救急科	脳神経外科	小児科	麻酔科	放射線科	病理	眼科	形成外科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリ	臨床検査	◎	☆	○	計
		新見市国民健康保険湯川診療所		○																		0	0	1	1
		長谷川紀念病院						○														0	0	1	1
真庭	計	基幹施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		基幹施設であり連携施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		
		連携施設	4	3	1	2	1	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			19	
	合計		4	3	1	2	1	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0				19
	真庭市	金田病院	○	○		○		○	○	○		○										0	0	7	7
		真庭市国民健康保険湯原温泉病院	○	○						○												0	0	3	3
		落合病院	○	○			○		○			○										0	0	5	5
		勝山病院	○					○														0	0	2	2
		津山中央まにわ病院				○																0	0	1	1
		向陽台病院			○																	0	0	1	1
津山 英田	計	基幹施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		基幹施設であり連携施設	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2		
		連携施設	7	10	2	1	2	2	1	4	1	2	1	1	2	0	1	0	1	1	0			39	
	合計		8	11	2	1	2	2	1	4	1	2	1	1	2	0	1	0	1	1	0				41
	津山市	津山中央病院	☆	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			0	1	13	14
		中島病院	○	○																		0	0	2	2
		日本原病院	○	○																		0	0	2	2
		津山中央記念病院	○												○							0	0	2	2
		石川病院	○																			0	0	1	1
		津山ファミリークリニック		○																		0	0	1	1
		希望ヶ丘ホスピタル			○																	0	0	1	1
		積善病院			○																	0	0	1	1
		赤堀クリニック					○															0	0	1	1
		津山第一病院						○		○												0	0	2	2
	美作市	美作市立大原病院	○							○												0	0	2	2
		湯郷ファミリークリニック		○																		0	0	1	1
	鏡野町	鏡野町国民健康保険病院	○	○						○		○										0	0	4	4
		芳野病院	○																			0	0	1	1
		鏡野町国民健康保険奥津診療所		○																		0	0	1	1
		鏡野町国民健康保険上齋原診療所		○																		0	0	1	1
		鏡野町国民健康保険富診療所		○																		0	0	1	1
	勝央町	さとう記念病院		○																	○	0	0	2	2
	奈義町	奈義ファミリークリニック		☆																		0	1	0	1

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	内科

プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	13 施設		374	223 施設（延べ数）				76
岡山大学病院	県南東部	岡山市	71	計	50 施設			1
				県南東部	岡山市		岡山中央病院	
							心臓病センター榊原病院	
							岡山医療センター	
							岡山済生会総合病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山労災病院	
							岡山協立病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山旭東病院	
							岡山紀念病院	
							岡山西大寺病院	
							岡山博愛会病院	
							光生病院	
							重井医学研究所附属病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
					玉野市		たまの病院	
					備前市		備前市国民健康保険市立吉永病院	
							備前市国民健康保険市立備前病院	
							備前市国民健康保険市立日生病院	
					瀬戸内市		瀬戸内市立瀬戸内市民病院	
							長島愛生園	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
					和気町		平病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							川崎医科大学附属病院	
							水島中央病院	
							倉敷市立市民病院	
							倉敷中央病院	
							水島協同病院	
							倉敷紀念病院	
							まび記念病院	
							倉敷中央病院リバーサイド	
							グリーン在宅クリニック	
							みずしま協同クリニック	
					笠岡市		笠岡第一病院	
							笠岡市立市民病院	
					井原市		井原市立井原市民病院	
					浅口市		金光病院	
					早島町		南岡山医療センター	
					矢掛町		矢掛町国民健康保険病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
							高梁市国民健康保険成羽病院	
					新見市		新見中央病院	
							渡辺病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							落合病院	
							真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
				津山・英田	津山市		中島病院	
							津山中央病院	
					鏡野町		鏡野町国民健康保険病院	

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
岡山済生会総合病院	県南東部	岡山市	29	計	19 施設		6
				県南東部	岡山市	心臓病センター榊原病院	
						岡山大学病院	
						岡山市久米南町組合立国民健康保険福渡病院	
						済生会吉備病院	
						岡山済生会外来センター病院	
						岡山労災病院	
					備前市	備前市国民健康保険市立日生病院	
					赤磐市	赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	
						倉敷成人病センター	
					井原市	井原市立井原市民病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁市国民健康保険成羽病院	
						高梁中央病院	
					新見市	新見中央病院	
						渡辺病院	
				真庭	真庭市	金田病院	
						真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
				津山・英田	美作市	美作市立大原病院	
					鏡野町	鏡野町国民健康保険病院	
岡山赤十字病院	県南東部	岡山市	11	計	21 施設		7
				県南東部	岡山市	岡山大学病院	
						岡山医療センター	
						岡山市立市民病院	
					玉野市	玉野三井病院	
						岡山赤十字玉野病院	
					備前市	備前市国民健康保険市立備前病院	
					赤磐市	赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷市立市民病院	
						倉敷中央病院	
						倉敷紀念病院	
					笠岡市	笠岡第一病院	
					井原市	井原市立井原市民病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁市国民健康保険成羽病院	
						高梁中央病院	
					新見市	渡辺病院	
				真庭	真庭市	金田病院	
						真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
						落合病院	
				津山・英田	津山市	中島病院	
					美作市	美作市立大原病院	
					鏡野町	鏡野町国民健康保険病院	
岡山市立市民病院	県南東部	岡山市	27	計	26 施設		6
				県南東部	岡山市	重井医学研究所附属病院	
						岡山大学病院	
						岡山市久米南町組合立国民健康保険福渡病院	
						岡山市立せのお病院	
						光生病院	
						岡山労災病院	
						岡山協立病院	
					玉野市	玉野市立玉野市民病院	
						岡山赤十字玉野病院	
					赤磐市	赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷市立市民病院	
						倉敷中央病院	
						まび記念病院	
						倉敷成人病センター	
					笠岡市	笠岡市立市民病院	
					井原市	井原市立井原市民病院	
					総社市	森下病院	
					矢掛町	矢掛町国民健康保険病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁中央病院	
						高梁市国民健康保険成羽病院	
				真庭	真庭市	金田病院	
						落合病院	
						真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
				津山・英田	津山市	石川病院	
						中島病院	
					美作市	美作市立大原病院	

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
岡山医療センター	県南東部	岡山市	37	計	18 施設			10
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山労災病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山協立病院	
					玉野市		たまの病院	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
					備前市		吉永病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							倉敷市立市民病院	
							倉敷中央病院	
					矢掛町		矢掛町国民健康保険病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
							高梁市国民健康保険成羽病院	
					新見市		渡辺病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							落合病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
							中島病院	
岡山協立病院	県南東部	岡山市	5	計	13 施設			2
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山医療センター	
							岡山市立市民病院	
							岡山東中央病院	
							岡山ひだまりの里病院	
							コープ大野辻クリニック	
							コープ西大寺診療所	
							コープみんなの診療所	
					玉野市		せいきょう玉野診療所	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							水島協同病院	
							倉敷中央病院	
				津山・英田	美作市		美作市立大原病院	
川崎医科大学総合医療センター	県南東部	岡山市	19	計	8 施設			5
				県南東部	岡山市		岡山赤十字病院	
							淳風会ロングライフホスピタル	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							倉敷中央病院	
							倉敷第一病院	
					早島町		南岡山医療センター	
				真庭	真庭市		金田病院	
岡山労災病院	県南東部	岡山市	16	計	8 施設			3
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山医療センター	
							岡山市民病院	
							岡山済生会総合病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
					玉野市		たまの病院	
							岡山赤十字玉野病院	
				津山・英田	津山市		中島病院	
心臓病センター榊原病院	県南東部	岡山市	6	計	4 施設			2
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	56	計	11 施設			9
				県南東部	岡山市		心臓病センター榊原病院	
							岡山大学病院	
							岡山赤十字病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							岡山市立市民病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							水島中央病院	
							水島協同病院	
					早島町		南岡山医療センター	
				真庭	真庭市		金田病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	77	計	24 施設			21
				県南東部	岡山市		岡山医療センター	
							重井医学研究所附属病院	
							岡山大学病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山市立市民病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							岡山済生会総合病院	
							つばさクリニック岡山	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							川崎医科大学附属病院	
							水島協同病院	
							水島中央病院	
							倉敷紀念病院	
							倉敷第一病院	
							倉敷中央病院リバーサイド	
							つばさクリニック倉敷	
							みずしま協同クリニック	
					笠岡市		笠岡第一病院	
					井原市		井原市立井原市民病院	
					浅口市		金光病院	
					早島町		南岡山医療センター	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
水島協同病院	県南西部	倉敷市	8	計	6 施設			1
				県南東部	岡山市		岡山協立病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							玉島協同病院	
							川崎医科大学附属病院	
							水島中央病院	
							みずしま協同クリニック	
津山中央病院	津山・英田	津山市	12	計	15 施設			3
				県南東部	岡山市		岡山医療センター	
							岡山大学病院	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							倉敷中央病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁市国民健康保険成羽病院	
					新見市		渡辺病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							勝山病院	
							真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
				津山・英田	津山市		津山中央記念病院	
							中島病院	
							日本原病院	
					美作市		美作市立大原病院	
					鏡野町		鏡野町国民健康保険病院	
							芳野病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	総合診療

プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	8 施設		36		124 施設（延べ数）			38
岡山大学病院	県南東部	岡山市	15	計	47 施設			4
				県南東部	岡山市		光生病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山済生会総合病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山博愛会病院	
							岡山西大寺病院	
							岡山県精神科医療センター	
							ももたろう往診クリニック	
							医療法人 佐藤医院	
							安田内科医院	
							岡山紀念病院	
							かとう内科並木通り診療所	
							岡山旭東病院	
							岡山協立病院	
							つばさクリニック岡山	
							岡山中央病院	
					玉野市		玉野市立玉野市民病院	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
					備前市		備前市国民健康保険市立備前病院	
							備前市国民健康保険市立吉永病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷市立市民病院	
							水島中央病院	
							倉敷中央病院	
					浅口市		金光病院	
					笠岡市		笠岡市立市民病院	
							笠岡第一病院	
					総社市		薬師寺慈恵病院	
							藤井クリニック	
				高梁・新見	高梁市		高梁市国民健康保険成羽病院	
							高梁中央病院	
					新見市		新見市国民健康保険神代診療所	
							新見市国民健康保険新郷診療所	
							新見市油野診療所	
							新見市高瀬診療所	
							新見市国民健康保険湯川診療所	
							哲西町診療所	
							新見中央病院	
							渡辺病院	
				真庭	真庭市		真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
							落合病院	
							金田病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
							日本原病院	
							津山ファミリークリニック	
							中島病院	
					美作市		湯郷ファミリークリニック	
					奈義町		奈義ファミリークリニック	

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
岡山医療センター	県南東部	岡山市	2	計	11 施設			8
				県南東部	岡山市		金川病院	
							岡山県精神科医療センター	
							ももたろう往診クリニック	
							森脇内科医院	
					和気町		北川病院	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
					備前市		備前市国民健康保険市立吉永病院	
				県南西部	矢掛町		矢掛町国民健康保険病院	
				高梁・新見	新見市		渡辺病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							岡山労災病院	
岡山協立病院	県南東部	岡山市	4	計	10 施設			3
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山医療センター	
							かとう内科並木通り診療所	
				県南西部	倉敷市		水島協同病院	
							倉敷成人病センター	
					笠岡市		笠岡第一病院	
				高梁・新見	新見市		哲西町診療所	
				津山・英田	津山市		日本原病院	
					奈義町		奈義ファミリークリニック	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	5	計	22 施設			5
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
							三宅医院	
							岡山市久米南町組合立国民健康保険福渡病院	
							医療法人 佐藤医院	
					赤磐市		うえの内科小児科医院	
							赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市		水島中央病院	
					笠岡市		笠岡第一病院	
					総社市		あさのクリニック	
					浅口市		金光病院	
					矢掛町		矢掛町国民健康保険病院	
							筒井医院	
				高梁・新見	高梁市		高梁市国民健康保険成羽病院	
							高梁中央病院	
					新見市		渡辺病院	
				真庭	真庭市		真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
							金田病院	
				津山・英田	勝央町		さとう記念病院	
					鏡野町		鏡野町国民健康保険奥津診療所	
							鏡野町国民健康保険上齋原診療所	
							鏡野町国民健康保険富診療所	
							鏡野町国民健康保険病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	2	計	6 施設			2
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院リバーサイド	
							玉島協同病院	
							水島協同病院	
					笠岡市		笠岡第一病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
					新見市		渡辺病院	
水島協同病院	県南西部	倉敷市	4	計	7 施設			2
				県南東部	岡山市		岡山協立病院	
				県南西部	倉敷市		玉島協同病院	
							倉敷中央病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁市国民健康保険成羽病院	
					新見市		哲西町診療所	
				真庭	真庭市		金田病院	
				津山・英田	奈義町		奈義ファミリークリニック	

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
哲西町診療所	高梁・新見	哲西町	0	計	2 施設		2
				県南東部	岡山市	岡山大学病院	
				高梁・新見	新見市	渡辺病院	
奈義ファミリークリニック	津山・英田	奈義町	0	計	19 施設		6
				県南東部	岡山市	岡山大学病院	
						岡山市立市民病院	
						岡山済生会総合病院	
						岡山紀念病院	
						かとう内科並木通り診療所	
					備前市	吉永病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	
						水島中央病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁中央病院	
						高梁市国民健康保険成羽病院	
					新見市	渡辺病院	
						哲西町診療所	
				真庭	真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
						金田病院	
				津山・英田	津山市	津山ファミリークリニック	
						日本原病院	
						津山中央病院	
					美作市	湯郷ファミリークリニック	
					鏡野町	鏡野町国民健康保険病院	
倉敷中央病院リバーサイド	県南西部	倉敷市	2	計	6 施設		4
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	
						水島中央病院	
					総社市	あさのクリニック	
					笠岡市	笠岡第一病院	
					矢掛町	矢掛町国民健康保険病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁中央病院	
笠岡第一病院	県南西部	笠岡市	2	計	1 施設		2
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	精神科

プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	5 施設		50	52 施設（延べ数）				22
岡山大学病院	県南東部	岡山市	7	計	24 施設			10
				県南東部	岡山市		慈圭病院	
							岡山県精神科医療センター	
							河田病院	
							林道倫精神科神経科病院	
							旭川荘療育・医療センター	
							岡山県精神保健福祉センター附属診療所	
							万成病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山済生会総合病院	
							まな星クリニック	
							岡山ひだまりの里病院	
							山陽病院	
							岡山市こころの健康センター	
							岡山労災病院	
					玉野市		岡南病院	
							由良病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							まきび病院	
					笠岡市		ももの里病院	
							きのこエスポアール病院	
				高梁・新見	高梁市		さきがけホスピタル	
				真庭	真庭市		向陽台病院	
				津山・英田	津山市		希望ヶ丘ホスピタル	
							積善病院	
岡山県精神科医療センター	県南東部	岡山市	15	計	8 施設			2
				県南東部	岡山市		東古松サンクト診療所	
							岡山大学病院	
							岡山県精神保健福祉センター附属診療所	
							まな星クリニック	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
					笠岡市		きのこエスポアール病院	
				津山・英田	津山市		希望ヶ丘ホスピタル	
							積善病院	
慈圭病院	県南東部	岡山市	17	計	7 施設			1
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山赤十字病院	
							旭川荘療育・医療センター	
							たかはしクリニック	
							川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							倉敷中央病院	
林道倫精神科神経科病院	県南東部	岡山市	5	計	3 施設			3
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山県精神科医療センター	
							岡山ひだまりの里病院	

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	6	計	10 施設			6
				県南東部	岡山市		慈圭病院	
							河田病院	
							万成病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							岡山県精神科医療センター	
				県南西部	倉敷市		まきび病院	
							倉敷仁風ホスピタル	
							わに診療所	
					笠岡市		ももの里病院	
				高梁・新見	高梁市		さきがけホスピタル	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	外科

プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	5 施設		98	40 施設（延べ数）				66
岡山大学病院	県南東部	岡山市	44	計	31 施設			40
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山医療センター	
							岡山労災病院	
							おおもと病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山協立病院	
							岡山中央病院	
							重井医学研究所附属病院	
							藤田病院	
					玉野市		中谷外科病院	
							たまの病院	
					備前市		備前市国民健康保険市立吉永病院	
					瀬戸内市		瀬戸内市立瀬戸内市民病院	
					赤磐市		赤磐医師会病院	
				県南西部	倉敷市		松田病院	
							水島協同病院	
							倉敷市立市民病院	
							倉敷成人病センター	
							倉敷第一病院	
							チクバ外科胃腸科肛門科病院	
							水島中央病院	
							渡辺胃腸科外科病院	
					井原市		井原市立井原市民病院	
					浅口市		金光病院	
					矢掛町		矢掛町国民健康保険病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
					新見市		渡辺病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							津山中央まにわ病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
岡山医療センター	県南東部	岡山市	7	計	1 施設			2
				県南東部	備前市		備前市国民健康保険市立吉永病院	
川崎医科大学総合医療センター	県南東部	岡山市	9	計	2 施設			4
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							倉敷中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	21	計	3 施設			10
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	矢掛町		矢掛町国民健康保険病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	17	計	3 施設			10
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		チクバ外科胃腸科肛門科病院	
							倉敷成人病センター	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	産婦人科	プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	4 施設		32	18 施設（延べ数）				28
岡山大学病院	県南東部	岡山市	14	計	11 施設			15
				県南東部	岡山市		岡山医療センター	
							岡山済生会総合病院	
							岡山二人クリニック	
							岡山赤十字病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							岡山市立市民病院	
							岡山中央病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
				真庭	真庭市		落合病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
							赤堀クリニック	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	5	計	5 施設			5
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
							岡山医療センター	
							三宅医院	
							岡山二人クリニック	
				津山・英田	津山市		赤堀クリニック	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	5	計	1 施設			5
				津山・英田	津山市		赤堀クリニック	
倉敷成人病センター	県南西部	倉敷市	8	計	1 施設			3
							岡山医療センター	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	整形外科	プログラム研修年限	4

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
県内の計	3 施設		33	44 施設（延べ数）			31
岡山大学病院	県南東部	岡山市	17	計	30 施設		21
				県南東部	岡山市	竜操整形外科病院	
						岡山赤十字病院	
						岡山医療センター	
						岡山済生会総合病院	
						岡山労災病院	
						川崎医科大学総合医療センター	
						岡山市立市民病院	
						旭川荘療育・医療センター	
						岡山西大寺病院	
						光生病院	
						岡山協立病院	
					玉野市	玉野市立玉野市民病院	
					備前市	備前市国民健康保険市立備前病院	
						備前市国民健康保険市立日生病院	
					赤磐市	赤磐医師会病院	
					吉備中央町	吉備高原医療リハビリテーションセンター	
				県南西部	倉敷市	水島中央病院	
						倉敷第一病院	
						玉島中央病院	
						プライムホスピタル玉島	
						松田病院	
						倉敷スイートホスピタル	
						倉敷市立市民病院	
						倉敷成人病センター	
					笠岡市	笠岡第一病院	
						笠岡市立市民病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁中央病院	
					新見市	長谷川紀念病院	
				真庭	真庭市	金田病院	
				津山・英田	津山市	津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	9	計	12 施設		5
				県南東部	岡山市	川崎医科大学総合医療センター	
						旭川荘療育・医療センター	
						岡山医療センター	
						岡山中央病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷平成病院	
						玉島中央病院	
						倉敷紀念病院	
						松田病院	
						倉敷第一病院	
				真庭	真庭市	金田病院	
						勝山病院	
				津山・英田	津山市	津山第一病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	7	計	2 施設		5
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院リバーサイド	
						しげい病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	泌尿器科	プログラム研修年限	4

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	3 施設		19	28 施設（延べ数）				14
岡山大学病院	県南東部	岡山市	10	計	17 施設			8
				県南東部	岡山市		岡山中央病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山医療センター	
							岡山済生会総合病院	
							岡山労災病院	
							岡山協立病院	
					玉野市		玉野市立玉野市民病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							倉敷市立市民病院	
							川崎医科大学附属病院	
					笠岡市		笠岡市立市民病院	
					浅口市		金光病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							落合病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	6	計	6 施設			5
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		松田病院	
							玉島中央病院	
							水島中央病院	
					笠岡市		笠岡第一病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	3	計	5 施設			1
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							水島中央病院	
							水島協同病院	
							倉敷市立市民病院	
					浅口市		金光病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	救急科	プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	4 施設		30	40 施設（延べ数）				20
岡山大学病院	県南東部	岡山市	10	計	14 施設			4
				県南東部	岡山市		岡山赤十字病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山済生会総合病院	
							岡山済生会外来センター病院	
							岡山労災病院	
							岡山旭東病院	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							倉敷中央病院	
					笠岡市		笠岡第一病院	
					総社市		薬師寺慈恵病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁中央病院	
					新見市		渡辺病院	
				津山・英田	津山市		津山第一病院	
							津山中央病院	
岡山赤十字病院	県南東部	岡山市	2	計	2 施設			2
				県南西部	倉敷市		倉敷市立市民病院	
							川崎医科大学附属病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	5	計	17 施設			8
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山済生会総合病院	
							岡山中央病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							岡山旭東病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							プライムホスピタル玉島	
							水島中央病院	
				高梁・新見	高梁市		高梁市国民健康保険成羽病院	
					新見市		渡辺病院	
				真庭	真庭市		金田病院	
							真庭市国民健康保険湯原温泉病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
					美作市		美作市立大原病院	
					鏡野町		鏡野町国民健康保険病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	13	計	9 施設			6
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山済生会総合病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							水島中央病院	
							水島協同病院	
							倉敷中央病院リバーサイド	
					笠岡市		笠岡第一病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	脳神経外科	プログラム研修年限	4

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
県内の計	3 施設		19	19 施設（延べ数）			11
岡山大学病院	県南東部	岡山市	9	計	12 施設		5
				県南東部	岡山市	岡山市立市民病院	
						川崎医科大学総合医療センター	
						岡山旭東病院	
						岡山労災病院	
						岡山医療センター	
						岡山赤十字病院	
						岡山済生会総合病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷平成病院	
						藤沢脳神経外科病院	
						水島中央病院	
						川崎医科大学附属病院	
				津山・英田	津山市	津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	4	計	5 施設		3
				県南東部	岡山市	岡山東部脳神経外科病院	
						川崎医科大学総合医療センター	
						岡山大学病院	
						岡山医療センター	
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	6	計	2 施設		3
				県南西部	倉敷市	川崎医科大学附属病院	
						倉敷平成病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	小児科	プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
県内の計	3 施設		46	29 施設（延べ数）			23
岡山大学病院	県南東部	岡山市	23	計	13 施設		10
				県南東部	岡山市	旭川荘療育・医療センター	
						岡山医療センター	
						岡山赤十字病院	
						岡山済生会総合病院	
						岡山市立市民病院	
					玉野市	玉野市立玉野市民病院	
				県南西部	倉敷市	倉敷成人病センター	
					笠岡市	笠岡第一病院	
				高梁・新見	高梁市	高梁市国民健康保険成羽病院	
				真庭	真庭市	落合病院	
						金田病院	
				津山・英田	津山市	津山中央病院	
					鏡野町	鏡野町国民健康保険病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	8	計	6 施設		4
				県南東部	岡山市	重井医学研究所附属病院	
						三宅医院	
						岡山医療センター	
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	
						水島中央病院	
					笠岡市	笠岡第一病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	15	計	10 施設		9
				県南東部	岡山市	岡山大学病院	
						つばさクリニック　岡山	
				県南西部	倉敷市	川崎医科大学附属病院	
						倉敷中央病院リバーサイド	
						倉敷成人病センター	
						水島中央病院	
						つばさクリニック　倉敷	
						よしみつ小児科医院	
					井原市	井原市立井原市民病院	
					早島町	南岡山医療センター	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

(2026.6.19現在)

基本診療領域	麻酔科	プログラム研修年限	4

(人)

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
県内の計	3 施設		36	18 施設(延べ数)			17
岡山大学病院	県南東部	岡山市	18	計	12 施設		8
				県南東部	岡山市	岡山旭東病院	
						岡山協立病院	
						岡山済生会総合病院	
						岡山市立市民病院	
						岡山赤十字病院	
						岡山労災病院	
						岡山医療センター	
						川崎医科大学総合医療センター	
						竜操整形外科病院	
				県南西部	倉敷市	川崎医科大学附属病院	
						倉敷成人病センター	
				津山・英田	津山市	津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	10	計	5 施設		5
				県南東部	岡山市	岡山大学病院	
						岡山中央病院	
						川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市	倉敷中央病院	
						倉敷成人病センター	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	8	計	1 施設		4
				県南西部	倉敷市	川崎医科大学附属病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	放射線科	プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	3 施設		20	16 施設（延べ数）				23
岡山大学病院	県南東部	岡山市	4	計	10 施設			15
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山医療センター	
							岡山市立市民病院	
							岡山画像診断センター	
							岡山旭東病院	
							岡山労災病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	13	計	3 施設			5
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
							岡山中央病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	3	計	3 施設			3
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
							岡山中央病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	病理科

プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	3 施設		13	14 施設（延べ数）				7
岡山大学病院	県南東部	岡山市	4	計	12 施設			5
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							岡山労災病院	
							岡山協立病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山赤十字病院	
							岡山医療センター	
							心臓病センター榊原病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
							水島協同病院	
							倉敷中央病院	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
							津山中央記念病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	4	計	1 施設			1
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	5	計	1 施設			1
				県南東部	岡山市		岡山大学病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	眼科

プログラム研修年限	4

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	3 施設		16	13 施設（延べ数）				5
岡山大学病院	県南東部	岡山市	6	計	7 施設			2
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							岡山赤十字病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							岡山市立市民病院	
							岡山医療センター	
							岡山労災病院	
				県南西部	倉敷市		倉敷成人病センター	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	7	計	5 施設			2
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							倉敷平成病院	
							倉敷成人病センター	
					笠岡市		笠岡第一病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	3	計	1 施設			1
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

(2026.6.19現在)

基本診療領域	形成外科	プログラム研修年限	4

(人)

専門研修基幹施設				専門研修連携施設			希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村	施設名	
県内の計	4 施設		11	16 施設(延べ数)			16
岡山大学病院	県南東部	岡山市	4	計	6 施設		7
				県南東部	岡山市	河田外科形成外科	
						岡山労災病院	
						岡山市立市民病院	
						岡山済生会総合病院	
						岡山赤十字病院	
						三宅医院	
川崎医科大学総合医療センター	県南東部	岡山市	2	計	3 施設		1
				県南東部	岡山市	岡山医療センター	
				県南西部	倉敷市	川崎医科大学附属病院	
				津山・英田	津山市	津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	4	計	6 施設		5
				県南東部	岡山市	川崎医科大学総合医療センター	
						岡山医療センター	
						河田外科形成外科	
				県南西部	倉敷市	玉島中央病院	
						倉敷平成病院	
				津山・英田	津山市	津山中央病院	
倉敷中央病院	県南西部	倉敷市	1	計	1 施設		3
				県南西部	倉敷市	ふじおか形成外科・美容外科	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	耳鼻咽喉科	プログラム研修年限	4

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	3 施設		18	4 施設（延べ数）				11
岡山大学病院	県南東部	岡山市	9	計	3 施設			5
				県南東部	岡山市		岡山赤十字病院	
							岡山医療センター	
							岡山済生会総合病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	5	計	1 施設			3
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
倉敷中央病院 ※	県南西部	倉敷市	4	計	0 施設			3

※ 連携施設は県外のみ

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	皮膚科

プログラム研修年限	5

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	2 施設		15	16 施設（延べ数）				13
岡山大学病院	県南東部	岡山市	8	計	11 施設			7
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							岡山医療センター	
							岡山赤十字病院	
							岡山市立市民病院	
							岡山労災病院	
					瀬戸内市		長島愛生園	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							倉敷成人病センター	
							倉敷第一病院	
					早島町		南岡山医療センター	
				津山・英田	津山市		津山中央病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	7	計	5 施設			6
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	
				県南西部	倉敷市		倉敷紀念病院	
							水島中央病院	
							玉島中央病院	
					浅口市		金光病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	リハビリテーション科	プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	2 施設		8	20 施設（延べ数）				12
岡山大学病院	県南東部	岡山市	3	計	8 施設			6
				県南東部	岡山市		岡山済生会総合病院	
							岡山西大寺病院	
							旭川荘療育・医療センター	
					吉備中央町		吉備高原医療リハビリテーションセンター	
				県南西部	倉敷市		川崎医科大学附属病院	
							倉敷リハビリテーション病院	
					笠岡市		笠岡第一病院	
					井原市		井原市立井原市民病院	
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	5	計	12 施設			6
				県南東部	岡山市		岡山リハビリテーション病院	
							岡山大学病院	
							川崎医科大学総合医療センター	
							旭川荘療育・医療センター	
					吉備中央町		吉備高原医療リハビリテーションセンター	
				県南西部	倉敷市		倉敷中央病院	
							倉敷リハビリテーション病院	
							しげい病院	
							倉敷平成病院	
							コープリハビリテーション病院	
							倉敷紀念病院	
				津山・英田	勝央町		さとう記念病院	

令和9(2027)年度各専門研修基幹施設における県内の連携施設一覧

（2026.6.19現在）

基本診療領域	臨床検査科

プログラム研修年限	3

（人）

専門研修基幹施設				専門研修連携施設				希望定員数
施設名	二次保健医療圏	市町村	指導医数	二次保健医療圏	市町村		施設名	
県内の計	1 施設		1	1 施設（延べ数）				1
川崎医科大学附属病院	県南西部	倉敷市	1	計	1 施設			1
				県南東部	岡山市		川崎医科大学総合医療センター	